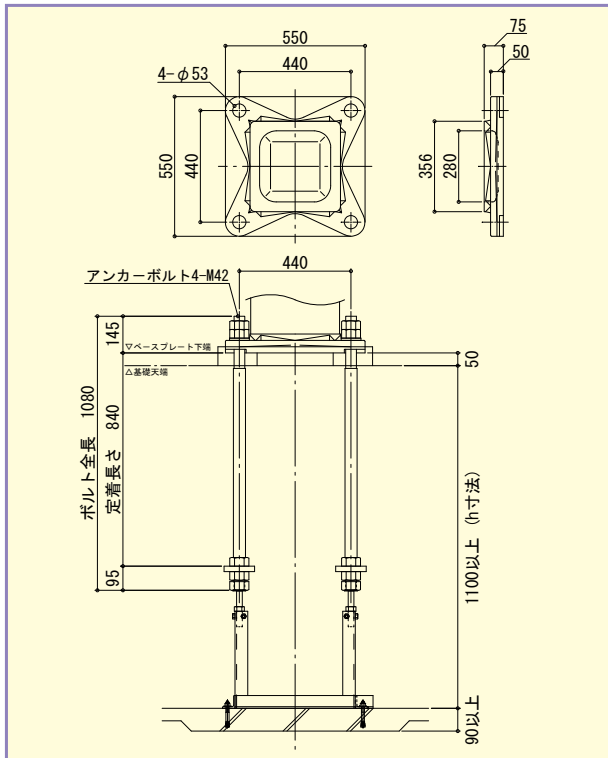


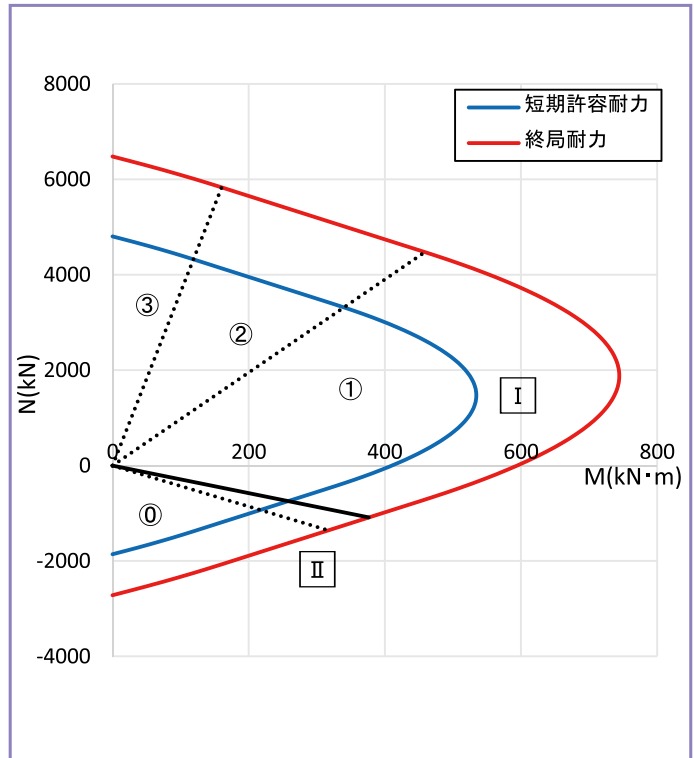
GB350-4-42 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □350 (板厚範囲:9~25mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M42)
回転ばね定数	128×10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	750	12-D25 (SD345)	D13@150 (SD295)	750	16-D25 (SD345)	D13@150 (SD295)	510
〈中柱用〉	750	12-D25 (SD345)	D13@150 (SD295)	750	16-D25 (SD345)	D13@150 (SD295)	510

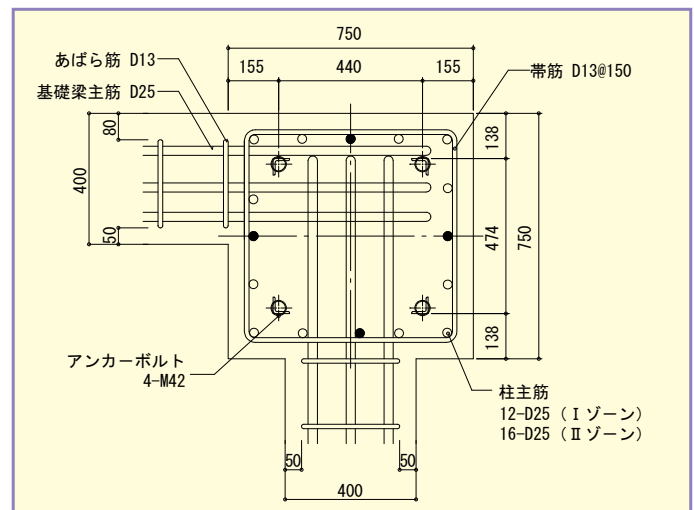
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	300~610	360~610	420~610	480~610
D25	300~610	370~610	440~610	510~610
D29	300~610	380~610	460~610	540~610

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~480	300~480	360~480	420~480
D25	250~480	320~480	390~480	460~480
D29	260~480	340~480	420~480	

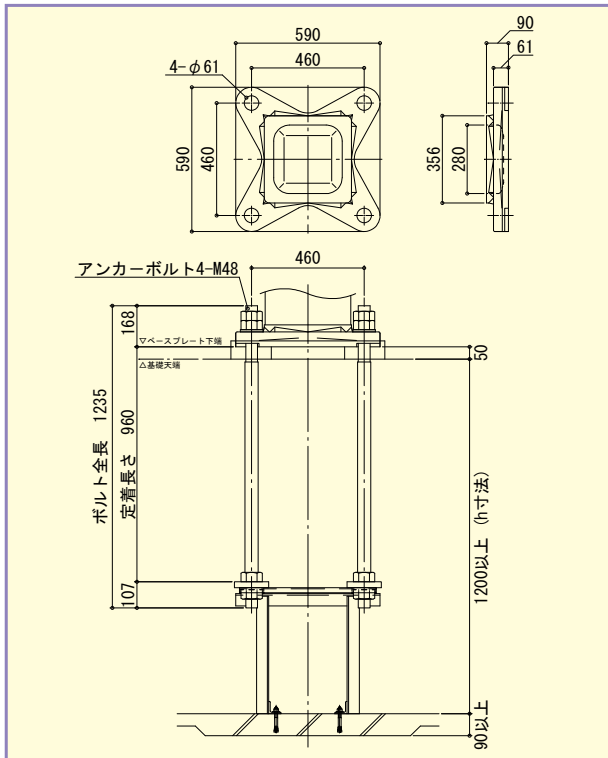


注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの場合の配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

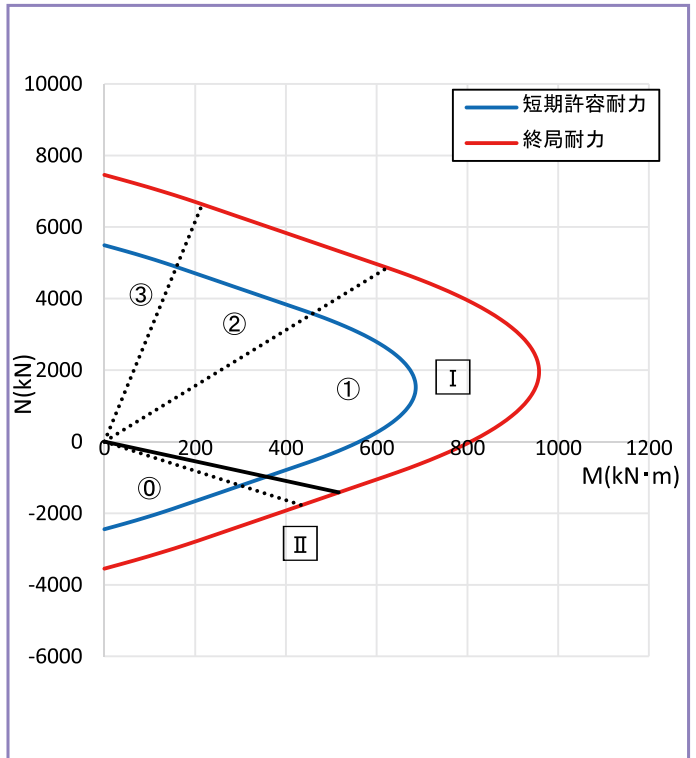
GB350-4-48 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □350 (板厚範囲:9~25mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M48)
回転ばね定数	156 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



GB

基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	790	12-D25(SD345)	D13@150(SD295)	790	20-D25(SD345)	D13@150(SD295)	610
〈中柱用〉	790	12-D25(SD345)	D13@150(SD295)	790	20-D25(SD345)	D13@150(SD295)	610

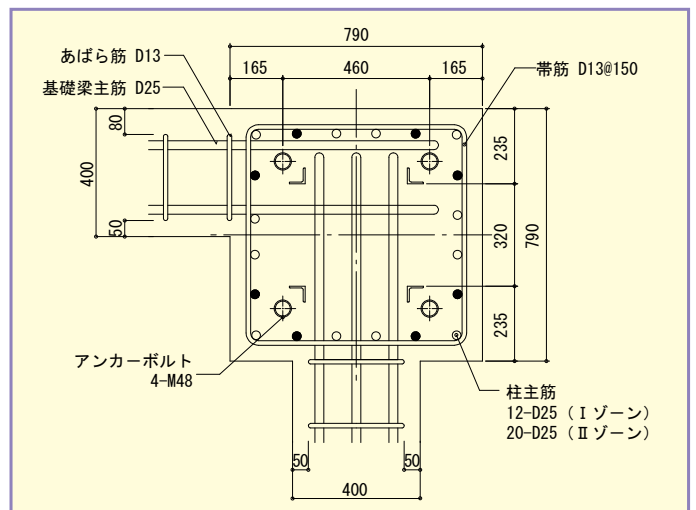
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	340~600	400~600	460~600	520~600
D25	340~600	410~600	480~600	550~600
D29	340~600	420~600	500~600	580~600

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~430	300~430	360~430	420~430
D25	250~430	320~430	390~430	
D29	260~430	340~430	420~430	

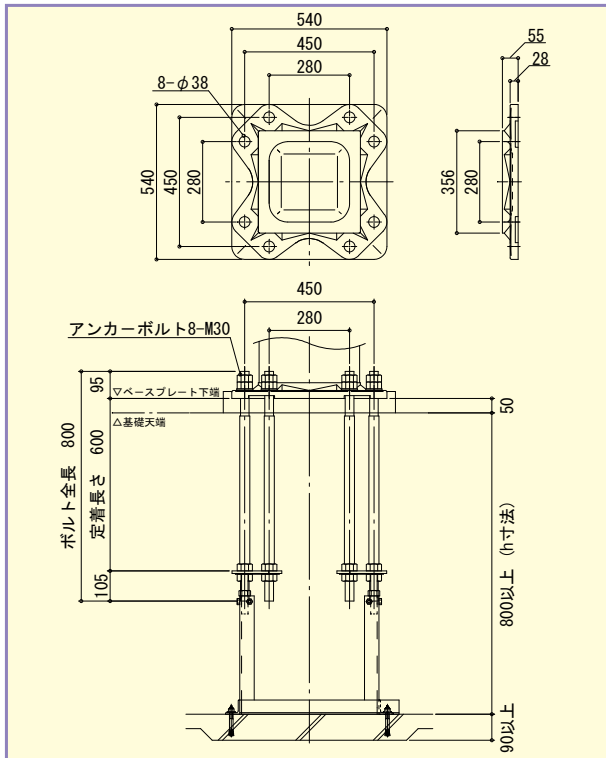


注1) 上記柱主筋について、柱主筋○はIゾーンの場合の配筋量です。
設計上、IIゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

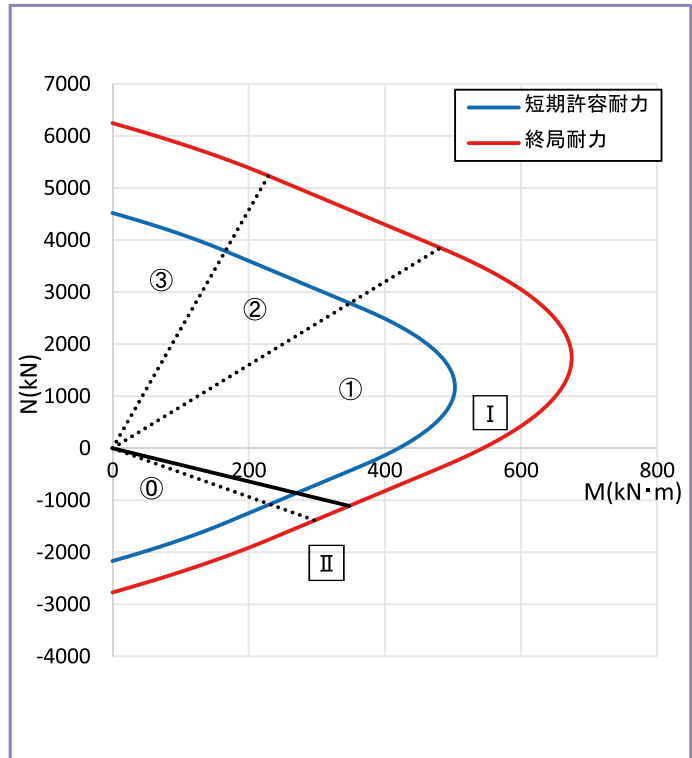
GB350-8-30 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □350 (板厚範囲:9~25mm)
ベースプレート	Gタイプ (鑄鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M30)
回転ばね定数	150×10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	740	16-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	740	20-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	490
〈中柱用〉	740	16-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	740	20-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	490

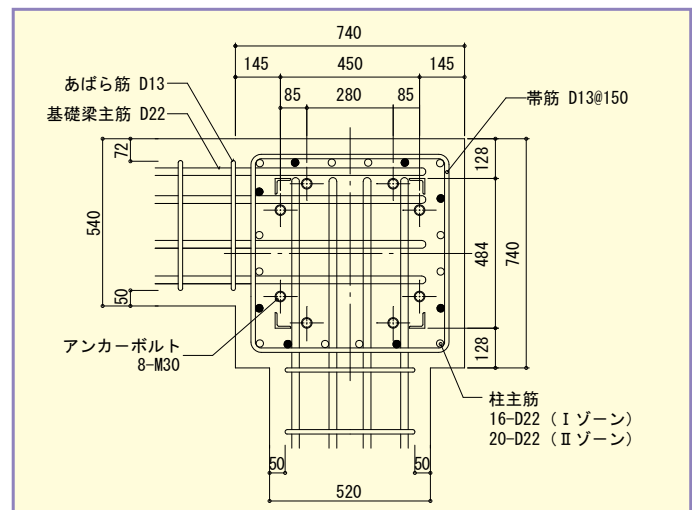
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	360~550	420~550	480~550	540~550
D22	360~550	420~550	480~550	540~550
D25	360~550	430~550	500~550	

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~360	300~360	360	*520
D22	240~360	300~360	360	*520
D25	250~360	320~360	*520	*520



注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。

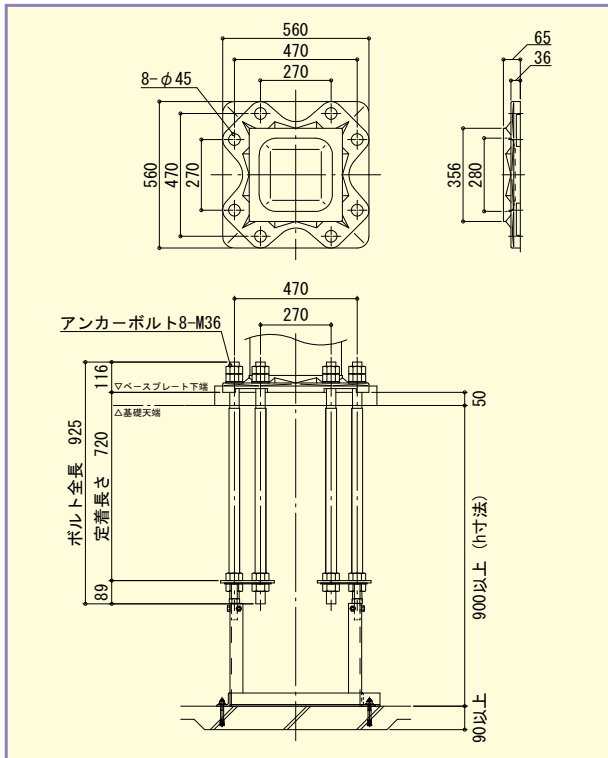
設計上、II ゾーンの場合、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

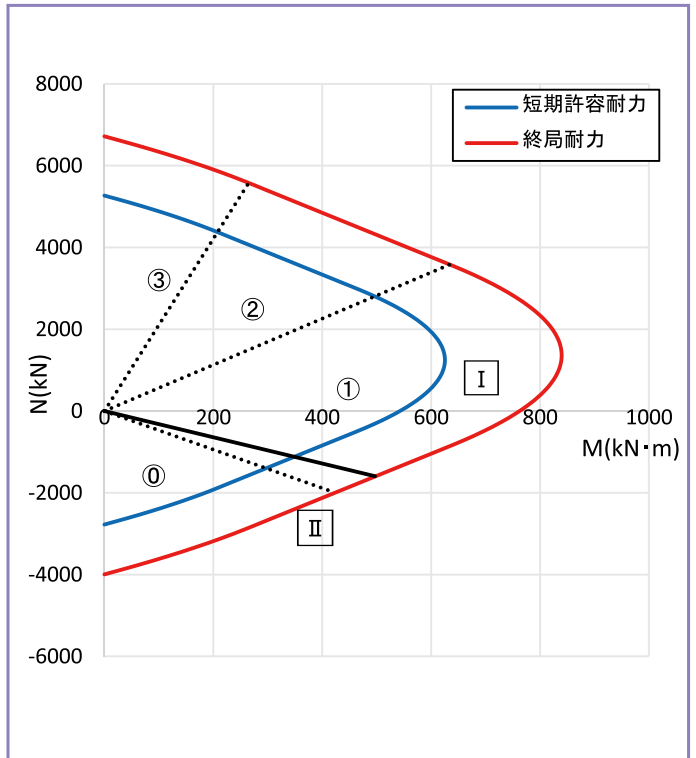
GB350-8-36 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □350 (板厚範囲:9~25mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M36)
回転ばね定数	188 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



GB

基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の 定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	770	16-D25 (SD345)	D13@150 (SD295)	770	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	590
〈中柱用〉	770	16-D25 (SD345)	D13@150 (SD295)	770	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	590

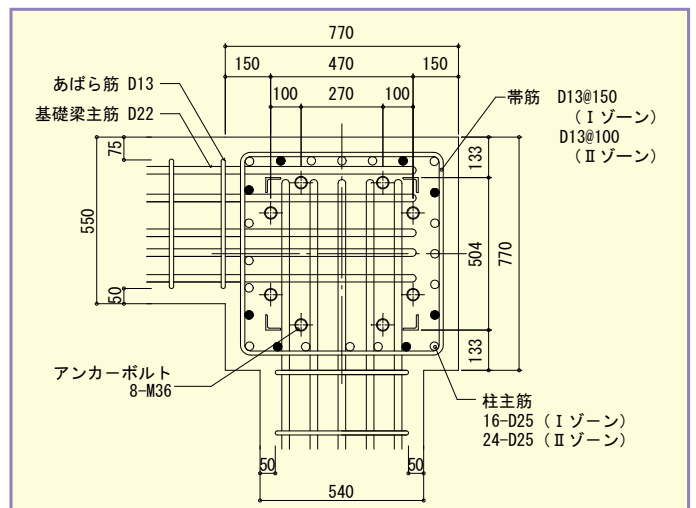
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	380~550	440~550	500~550	
D22	380~550	440~550	500~550	
D25	380~550	450~550	520~550	

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~340	300~340	* 540	* 540
D22	240~340	300~340	* 540	* 540
D25	250~340	320~340	* 540	* 540

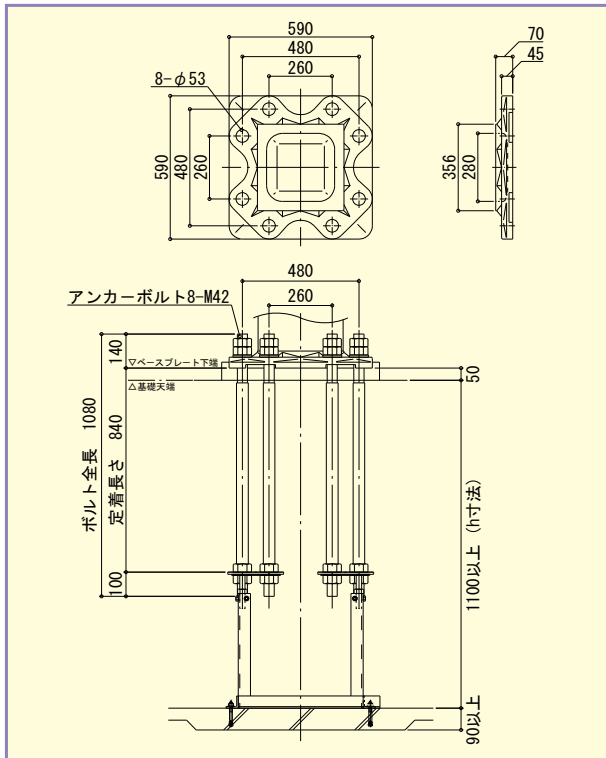


注1) 上記柱主筋について、柱主筋○はIゾーンの場合の配筋量です。
設計上、IIゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。
注2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

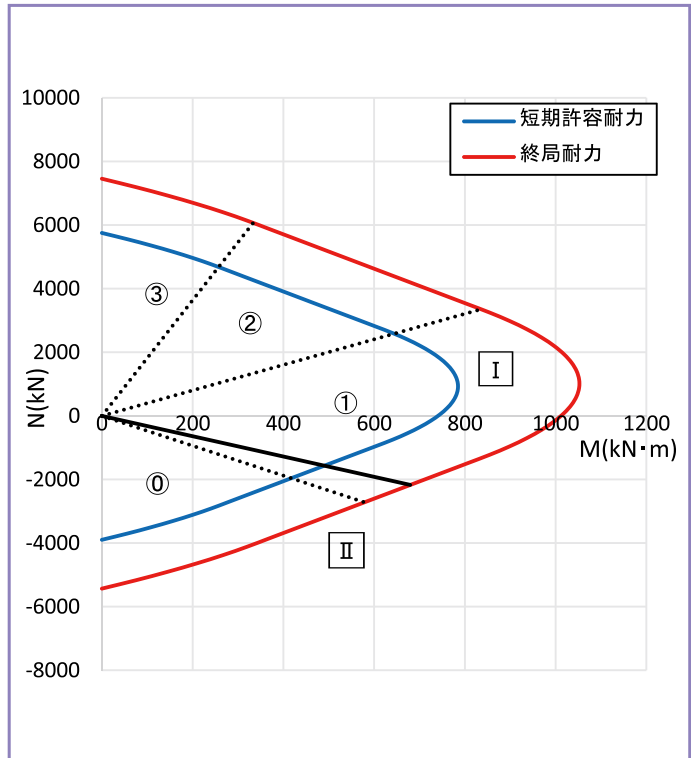
GB350-8-42 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □350 (板厚範囲: 9~25mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M42)
回転ばね定数	216×10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	I ゾーンの場合			II ゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	790	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	800	32-D25 (SD345)	D16@100 (SD295)	630
〈中柱用〉	790	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	800	32-D25 (SD345)	D16@100 (SD295)	630

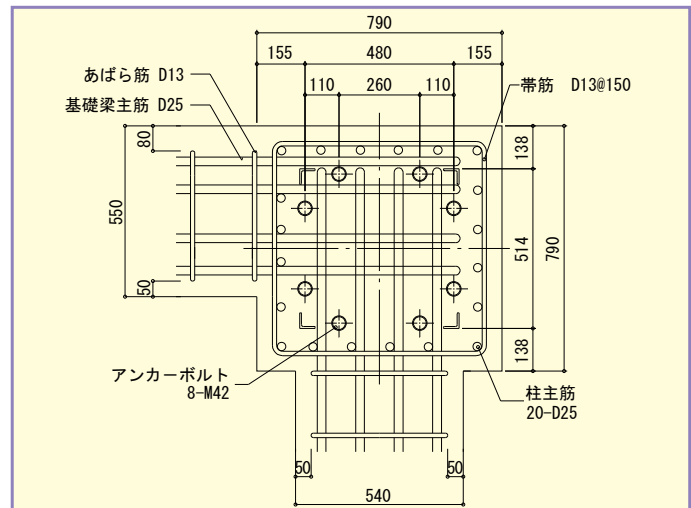
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	400~550	460~550	520~550	
D25	400~550	470~550	540~550	
D29	400~550	480~550		

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~320	300~320	* 540	* 540
D25	250~320	320	* 540	* 540
D29	260~320	* 540	* 540	



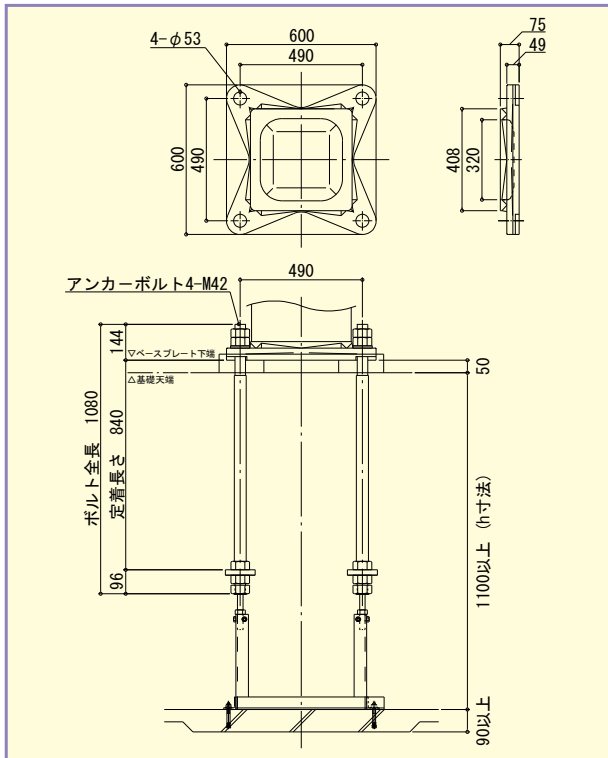
注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。

注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

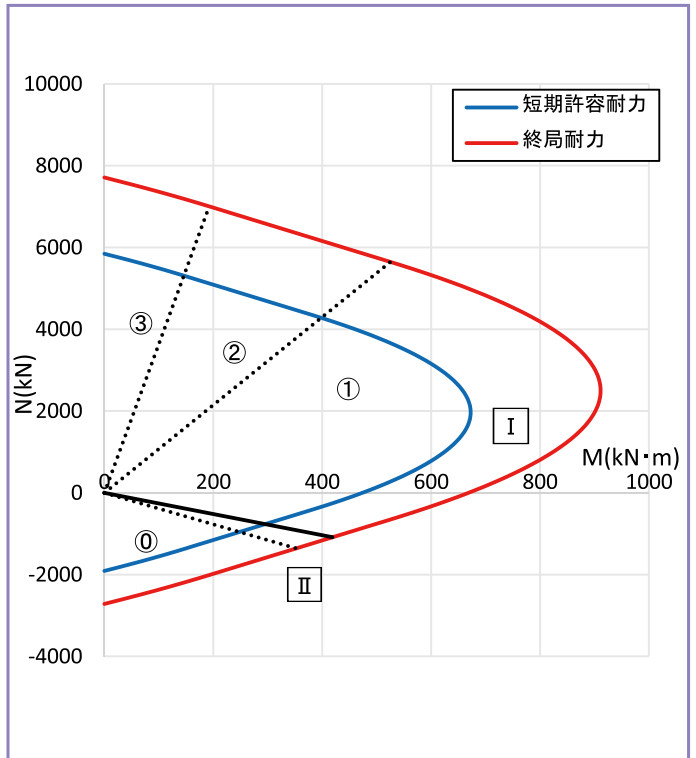
GB400-4-42 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □400 (板厚範囲:9~32mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M42)
回転ばね定数	163×10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



GB

基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	810	12-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	810	16-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	420
〈中柱用〉	810	12-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	810	16-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	420

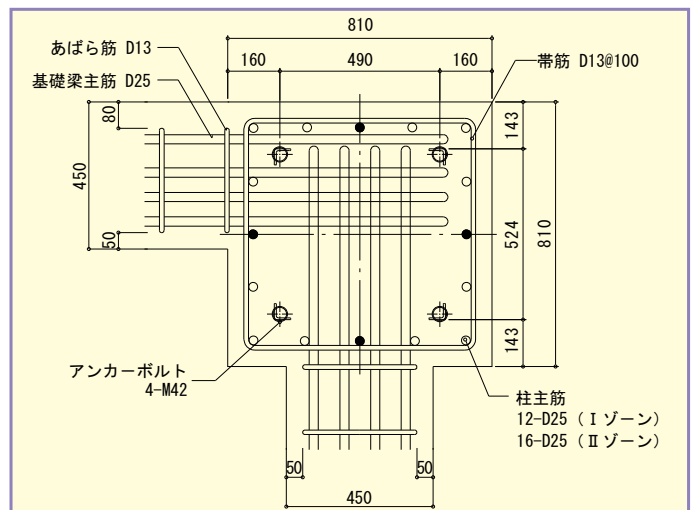
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	300~660	360~660	420~660	480~660
D25	300~660	370~660	440~660	510~660
D29	300~660	380~660	460~660	540~660

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~530	300~530	360~530	420~530
D25	250~530	320~530	390~530	460~530
D29	260~530	340~530	420~530	500~530

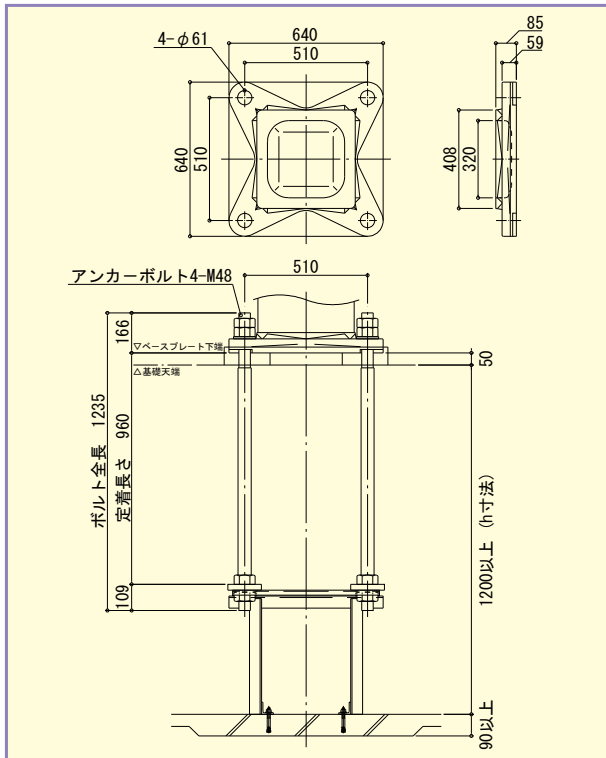


注1) 上記柱主筋について、柱主筋○はIゾーンの場合の配筋量です。
設計上、IIゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

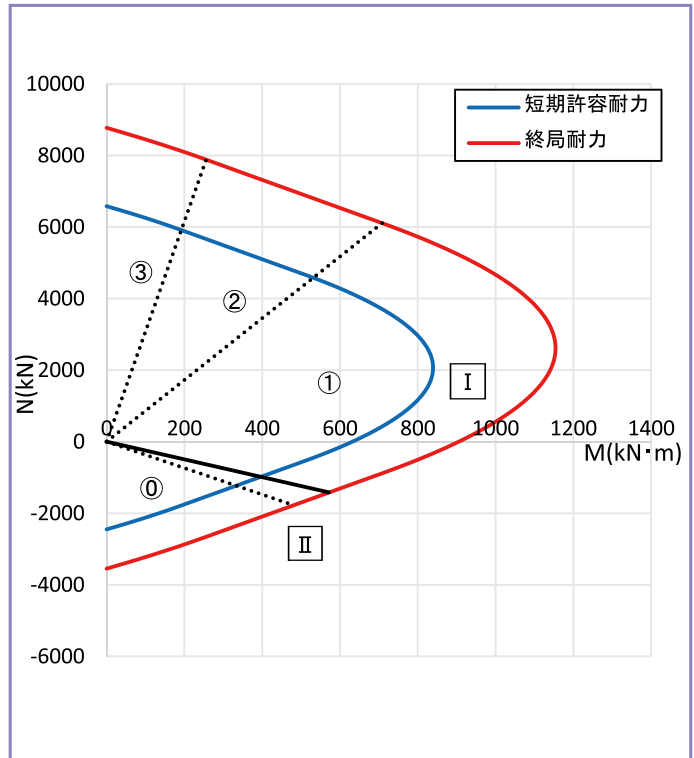
GB400-4-48 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □400 (板厚範囲:9~32mm)
ベースプレート	Gタイプ (鑄鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M48)
回転ばね定数	194 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	840	12-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	840	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	520
〈中柱用〉	840	12-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	840	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	520

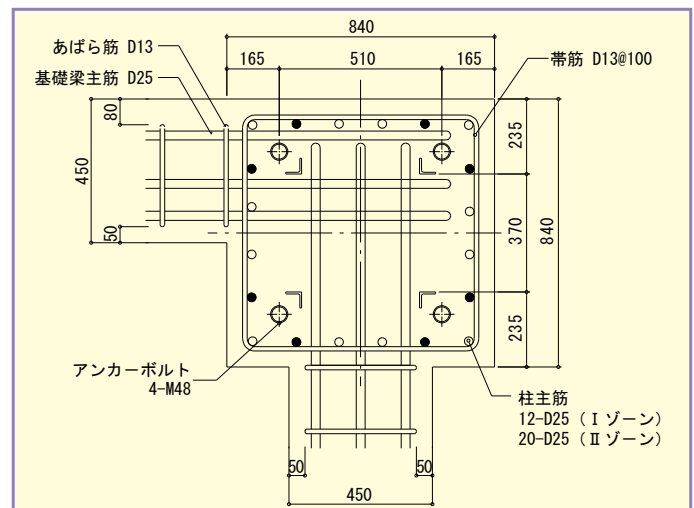
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	340~650	400~650	460~650	520~650
D25	340~650	410~650	480~650	550~650
D29	340~650	420~650	500~650	580~650

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~480	300~480	360~480	420~480
D25	250~480	320~480	390~480	460~480
D29	260~480	340~480	420~480	

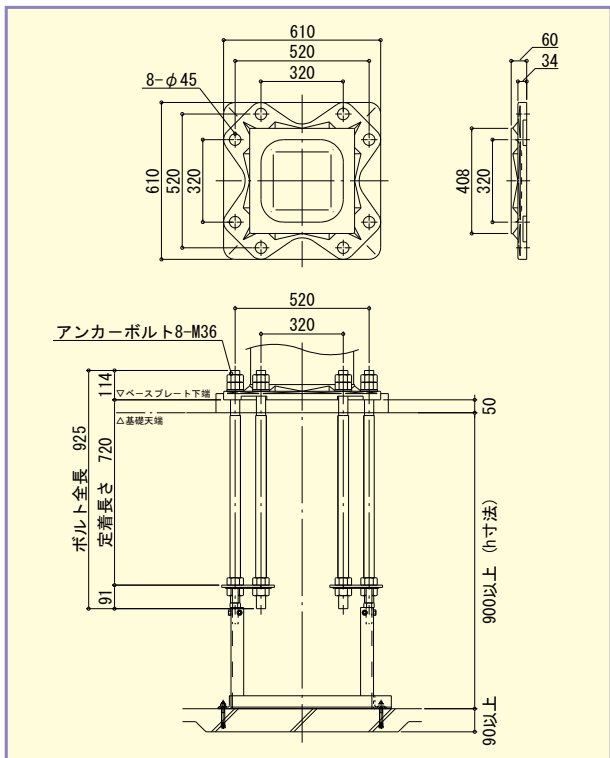


注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

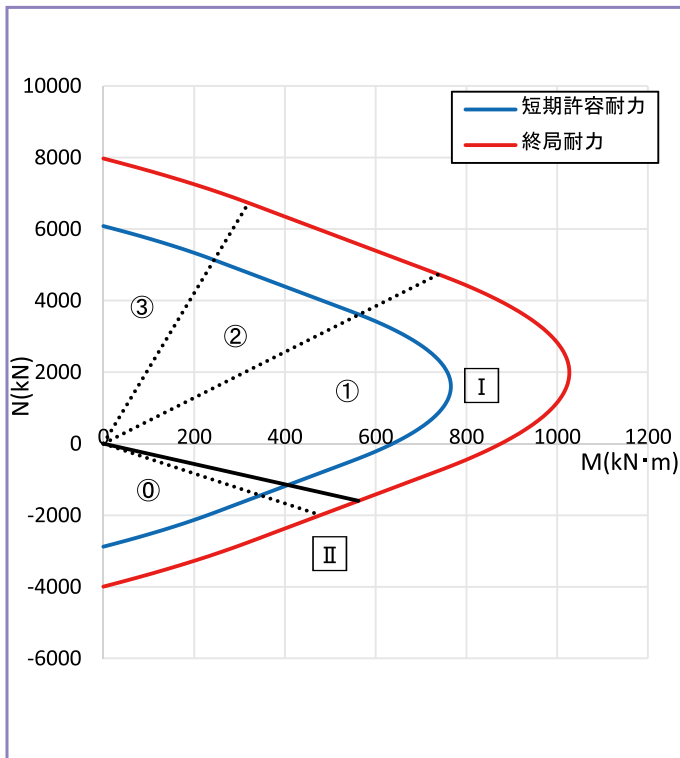
GB400-8-36 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □400 (板厚範囲:9~32mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M36)
回転ばね定数	234 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



GB

基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	820	16-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	820	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	570
〈中柱用〉	820	16-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	820	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	570

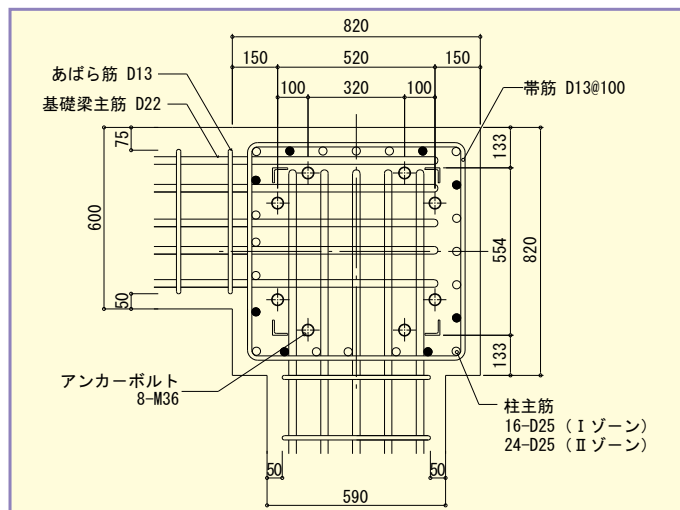
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	380~600	440~600	500~600	560~600
D22	380~600	440~600	500~600	560~600
D25	380~600	450~600	520~600	590~600

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~390	300~390	360~390	* 590
D22	240~390	300~390	360~390	* 590
D25	250~390	320~390	390	* 590



注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。

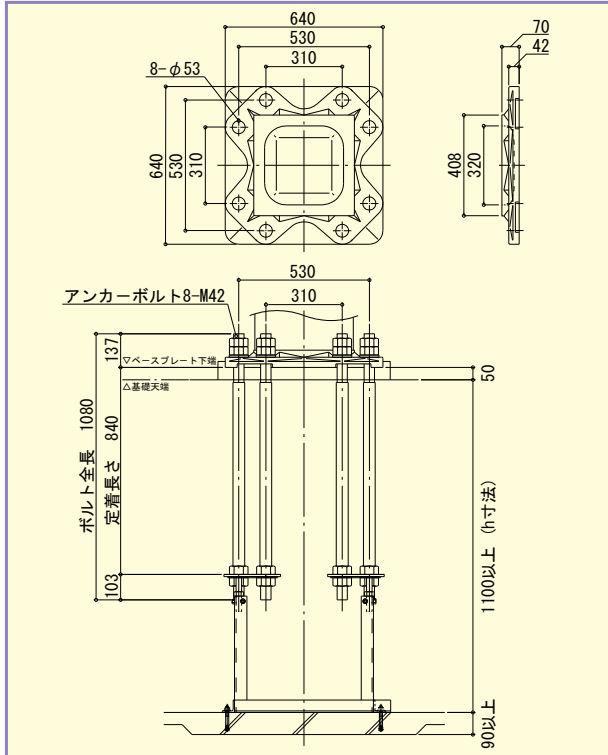
設計上、II ゾーンの場合、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

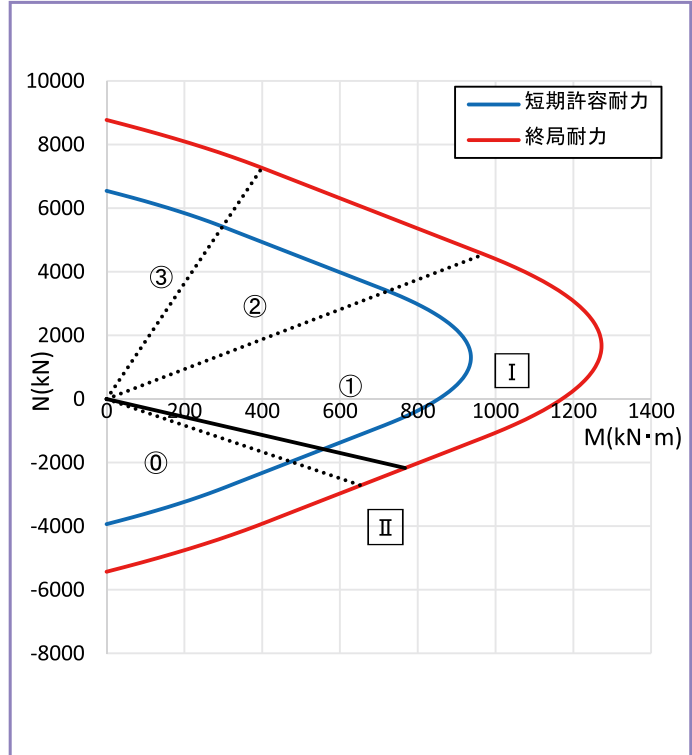
GB400-8-42 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □400 (板厚範囲:9~32mm)
ベースプレート	Gタイプ (鑄鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M42)
回転ばね定数	282 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	I ゾーンの場合			II ゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	840	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	850	32-D25 (SD345)	D16@100 (SD295)	640
〈中柱用〉	840	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	850	32-D25 (SD345)	D16@100 (SD295)	640

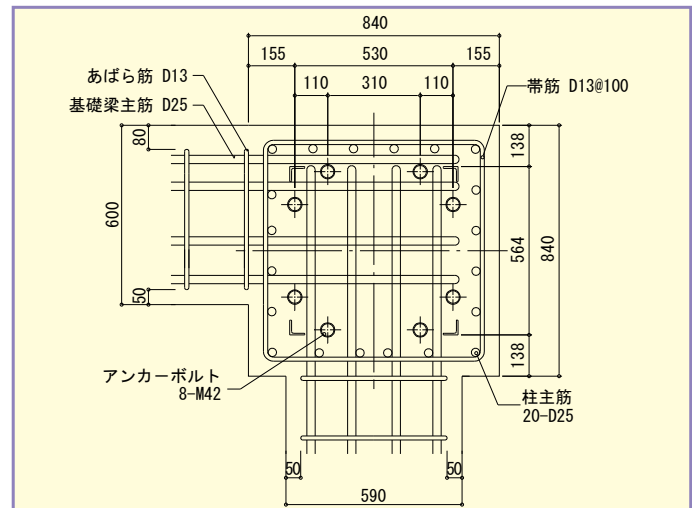
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	400~600	460~600	520~600	580~600
D25	400~600	470~600	540~600	
D29	400~600	480~600	560~600	

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~370	300~370	360~370	*590
D25	250~370	320~370	*590	*590
D29	260~370	340~370	*590	*590



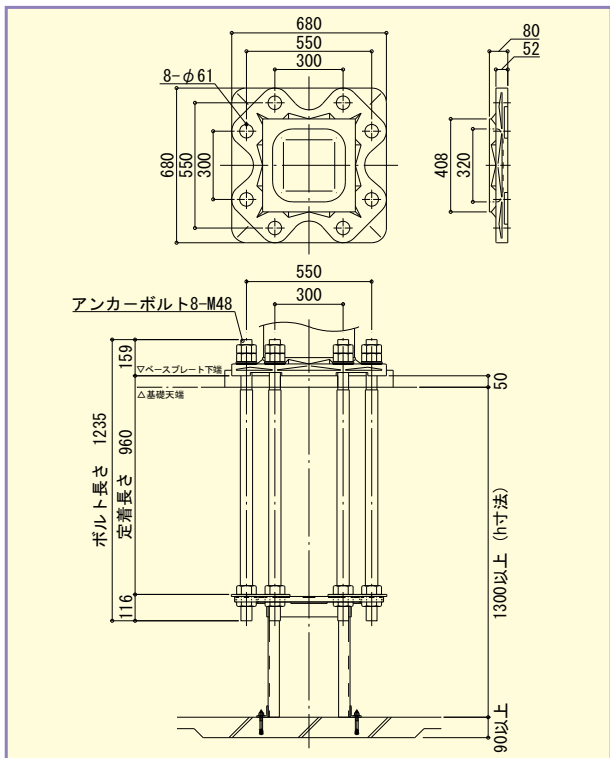
注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。

注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

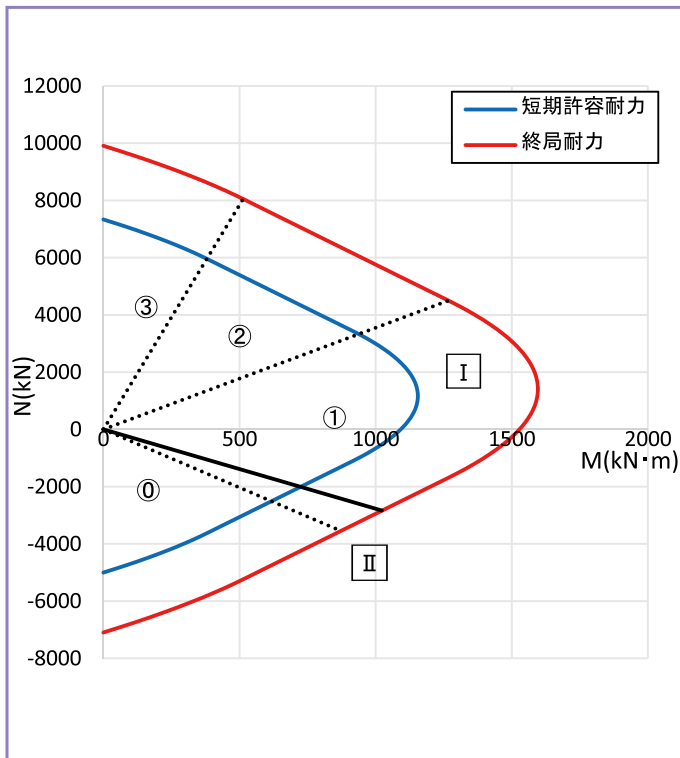
GB400-8-48 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □400 (板厚範囲:9~32mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M48)
回転ばね定数	321 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



GB

基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	880	20-D29 (SD390)	D13@100 (SD295)	890	28-D29 (SD390)	D16@100 (SD295)	810
〈中柱用〉	880	20-D29 (SD390)	D13@100 (SD295)	890	28-D29 (SD390)	D16@100 (SD295)	810

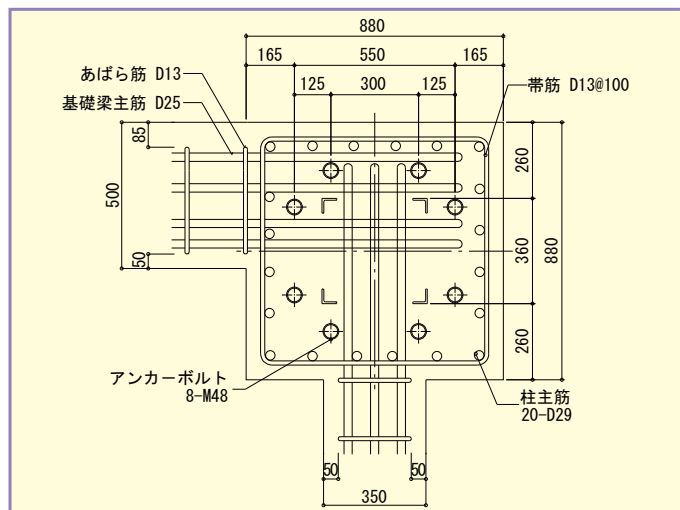
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	430~610	490~610	550~610	610
D25	430~610	500~610	570~610	
D29	430~610	510~610	590~610	

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~360	300~360	360	* 600
D25	250~360	320~360	* 600	* 600
D29	260~360	340~360	* 600	* 600



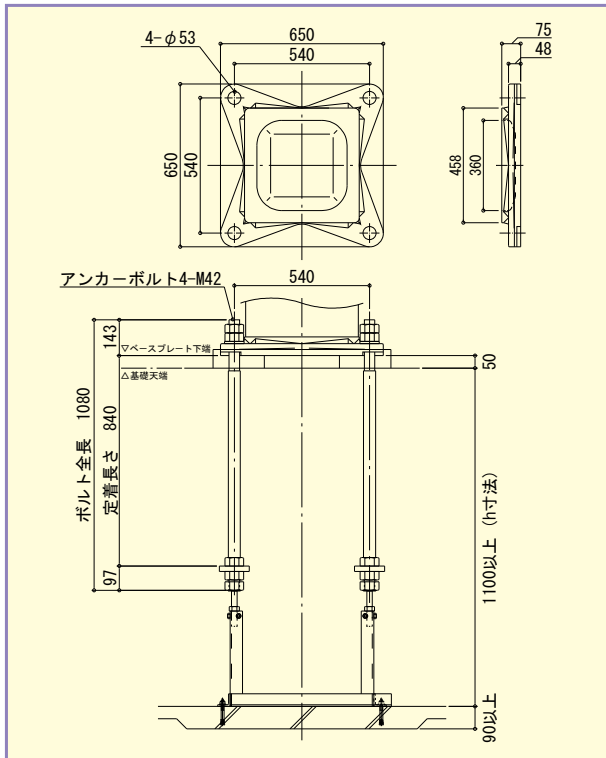
注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。

注 2) *がつけ基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

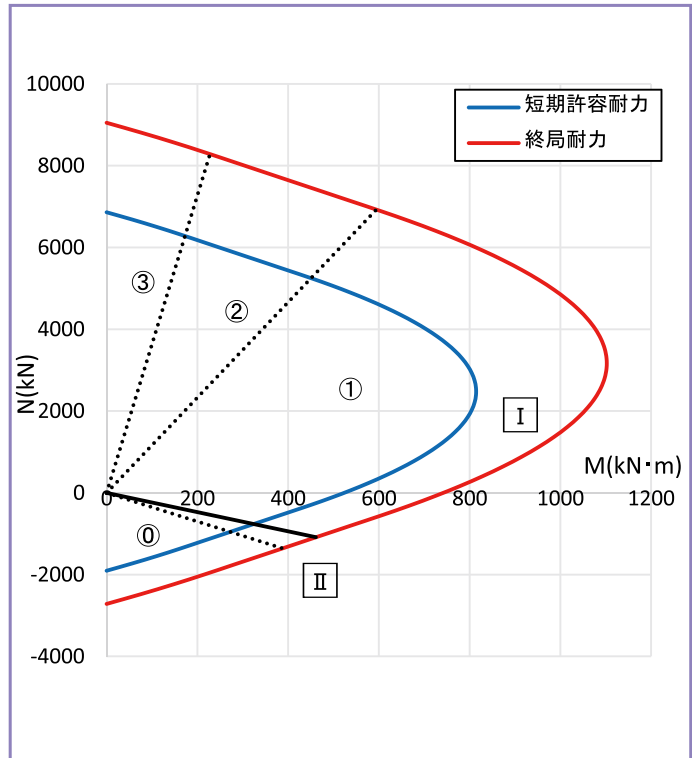
GB450-4-42 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □450 (板厚範囲: 9~36mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M42)
回転ばね定数	199 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	860	12-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	860	16-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	420
〈中柱用〉	860	12-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	860	16-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	420

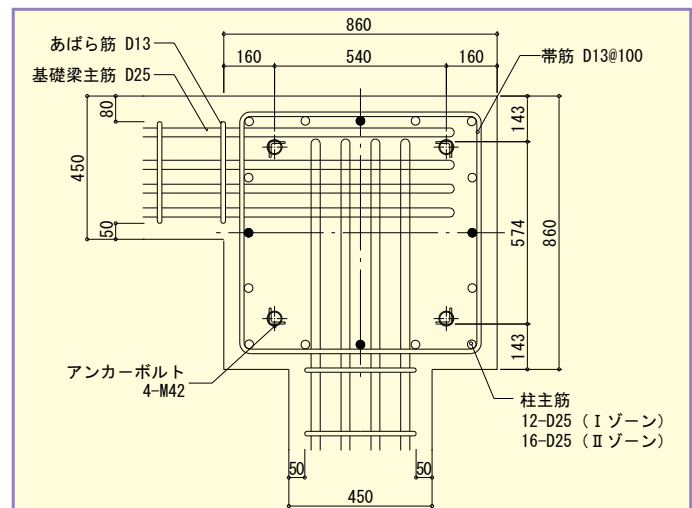
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	300~710	360~710	420~710	480~710
D25	300~710	370~710	440~710	510~710
D29	300~710	380~710	460~710	540~710

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~580	300~580	360~580	420~580
D25	250~580	320~580	390~580	460~580
D29	260~580	340~580	420~580	500~580

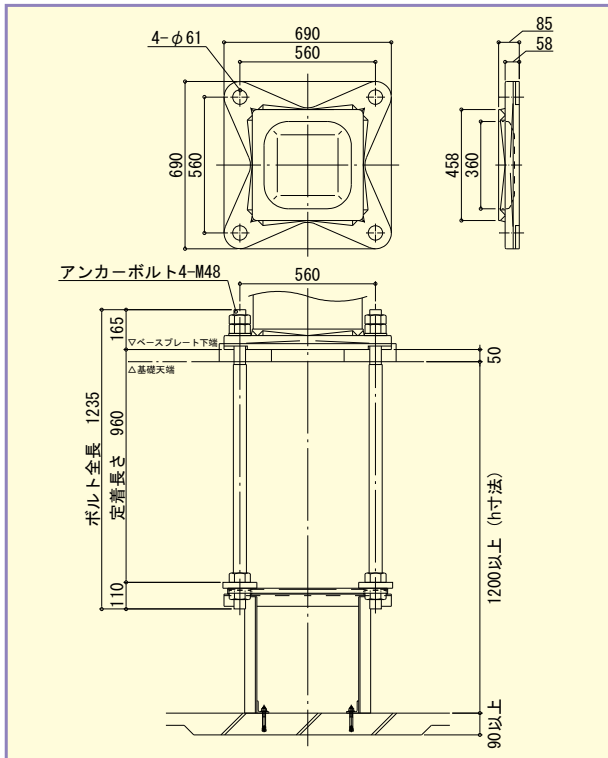


注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの場合の配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

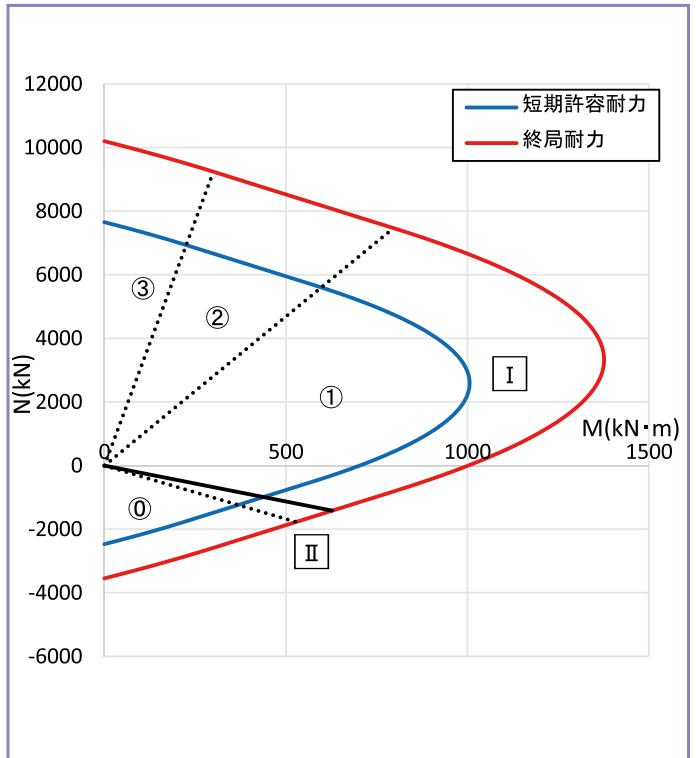
GB450-4-48 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □450 (板厚範囲:9~36mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M48)
回転ばね定数	236 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



GB

基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	890	12-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	890	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	510
〈中柱用〉	890	12-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	890	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	510

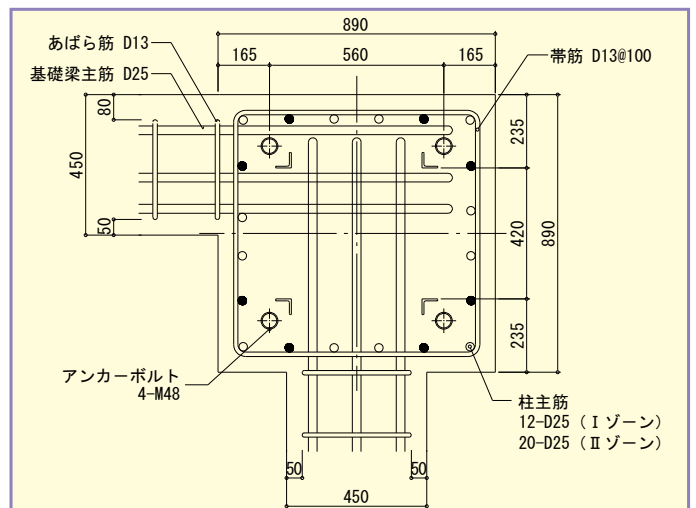
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	340~700	400~700	460~700	520~700
D25	340~700	410~700	480~700	550~700
D29	340~700	420~700	500~700	580~700

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~530	300~530	360~530	420~530
D25	250~530	320~530	390~530	460~530
D29	260~530	340~530	420~530	500~530

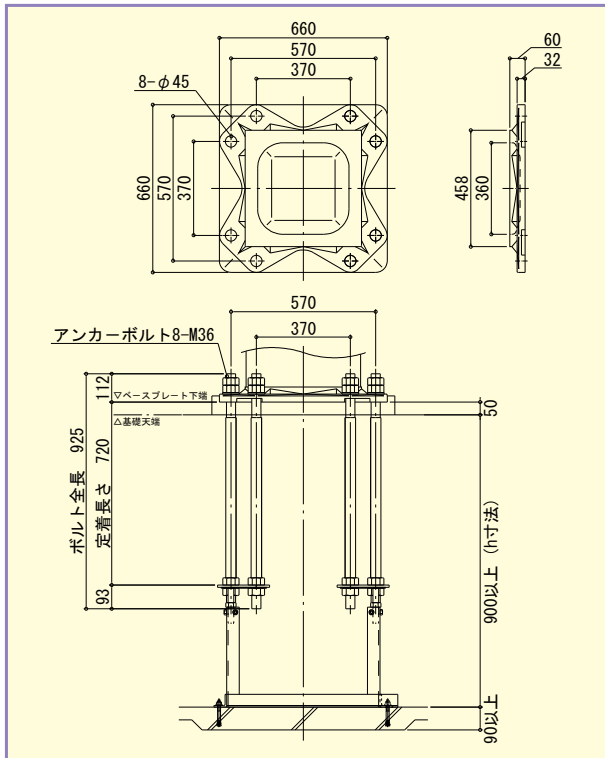


注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの場合の配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

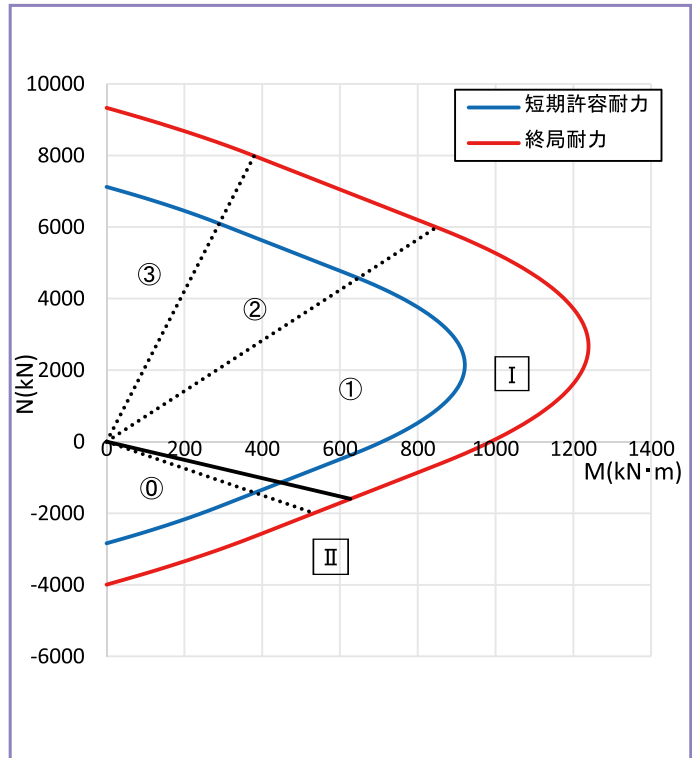
GB450-8-36 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □450 (板厚範囲:9~36mm)
ベースプレート	Gタイプ (鑄鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M36)
回転ばね定数	296 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	870	16-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	870	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	550
〈中柱用〉	870	16-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	870	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	550

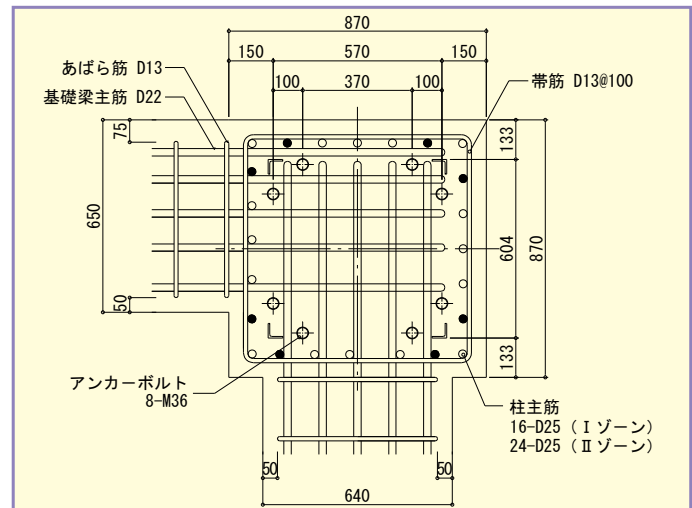
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	380~650	440~650	500~650	560~650
D22	380~650	440~650	500~650	560~650
D25	380~650	450~650	520~650	590~650

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~440	300~440	360~440	420~440
D22	240~440	300~440	360~440	420~440
D25	250~440	320~440	390~440	*640

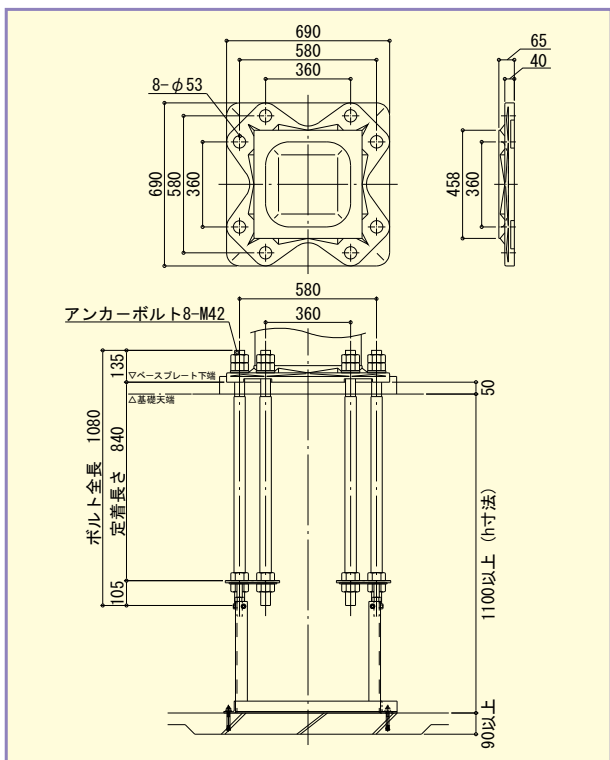


注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
 設計上、II ゾーンの場合の配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。
 注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

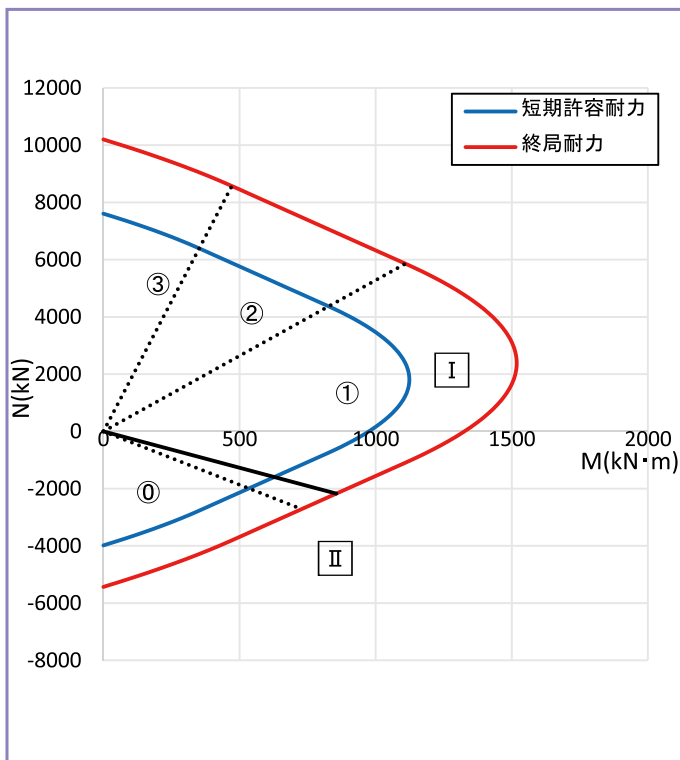
GB450-8-42 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □450 (板厚範囲:9~36mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M42)
回転ばね定数	348 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



GB

基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の 定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	890	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	890	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	710
〈中柱用〉	890	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	890	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	710

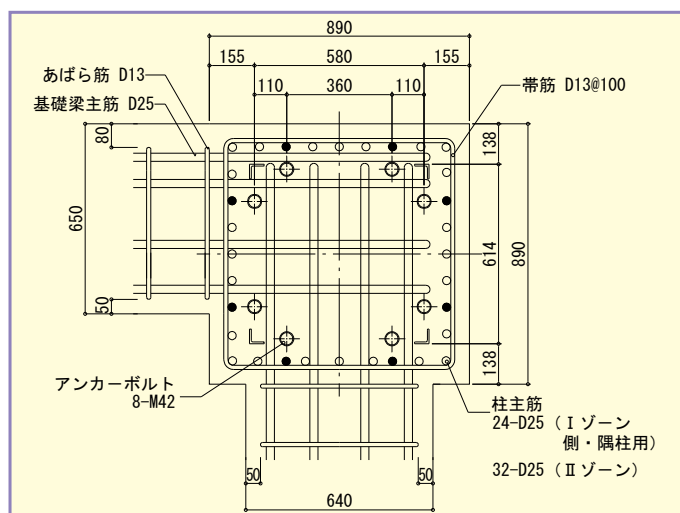
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	400~650	460~650	520~650	580~650
D25	400~650	470~650	540~650	610~650
D29	400~650	480~650	560~650	640~650

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~420	300~420	360~420	420
D25	250~420	320~420	390~420	* 640
D29	260~420	340~420	420	* 640

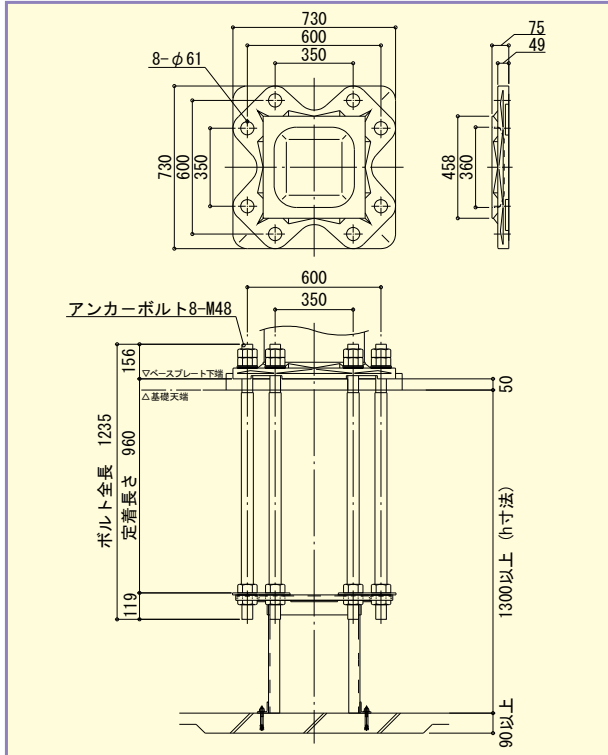


注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーン <側・隅柱用> の場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの場合、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。
注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

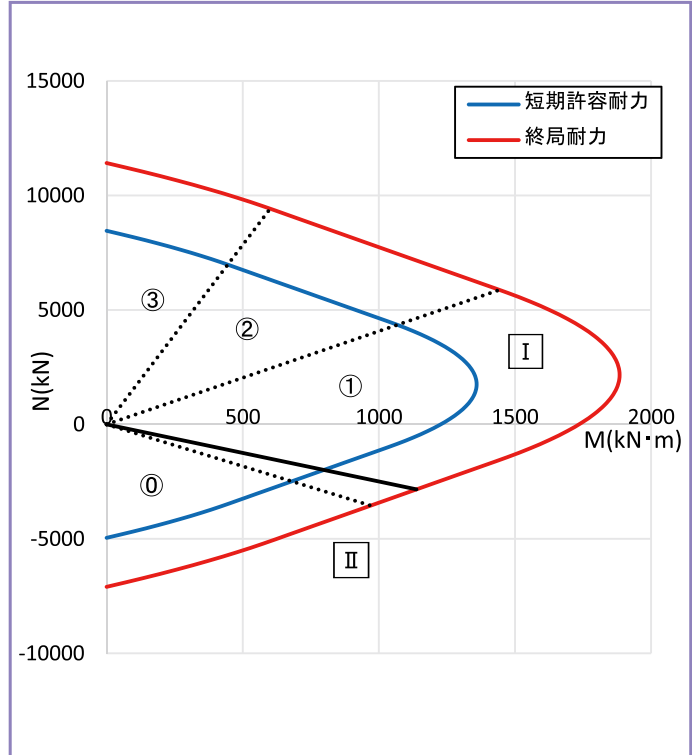
GB450-8-48 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □450 (板厚範囲:9~36mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M48)
回転ばね定数	413×10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	I ゾーンの場合			II ゾーンの場合			鉄筋の 定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	930	20-D29 (SD390)	D13@100 (SD295)	940	28-D29 (SD390)	D16@100 (SD295)	810
〈中柱用〉	930	20-D29 (SD390)	D13@100 (SD295)	940	28-D29 (SD390)	D16@100 (SD295)	810

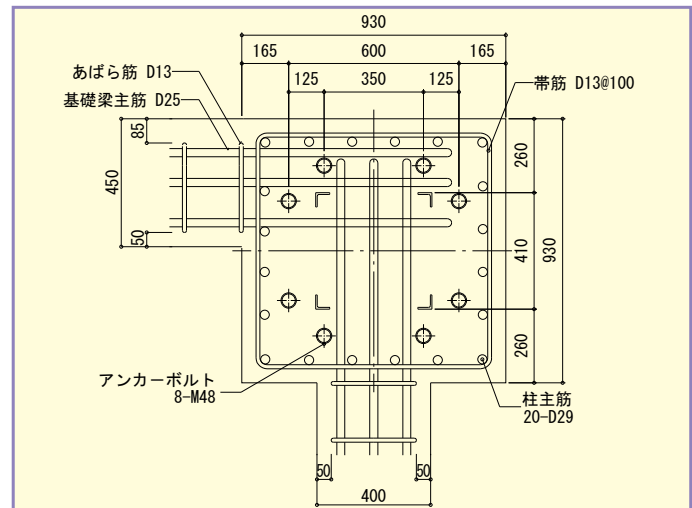
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	430~660	490~660	550~660	610~660
D25	430~660	500~660	570~660	640~660
D29	430~660	510~660	590~660	

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~410	300~410	360~410	* 650
D25	250~410	320~410	390~410	* 650
D29	260~410	340~410	* 650	* 650



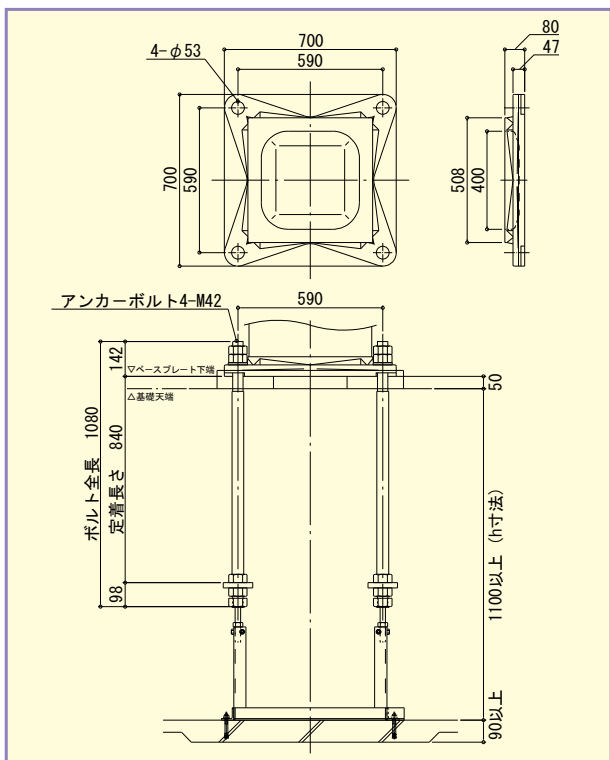
注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。

注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

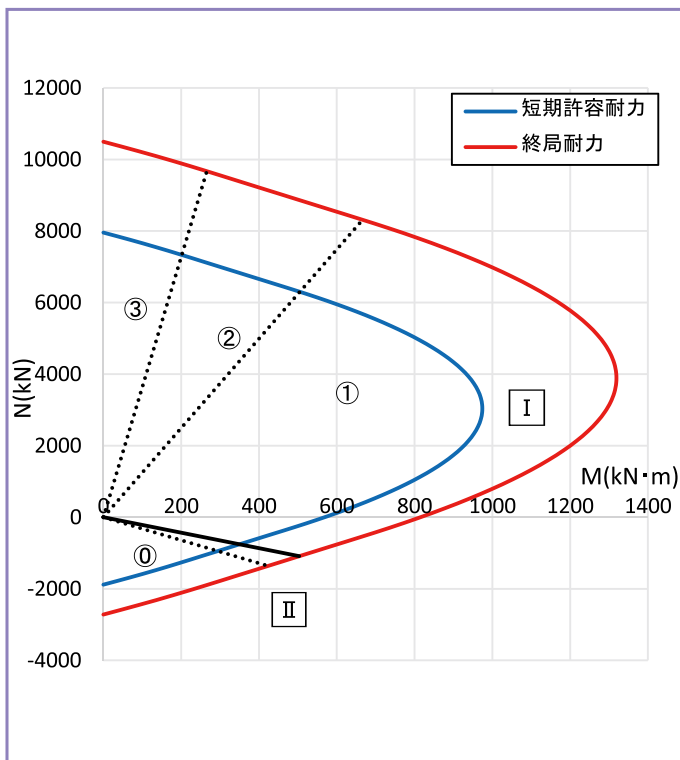
GB500-4-42 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □500 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M42)
回転ばね定数	244 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



GB

基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	910	12-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	910	16-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	410
〈中柱用〉	910	12-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	910	16-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	410

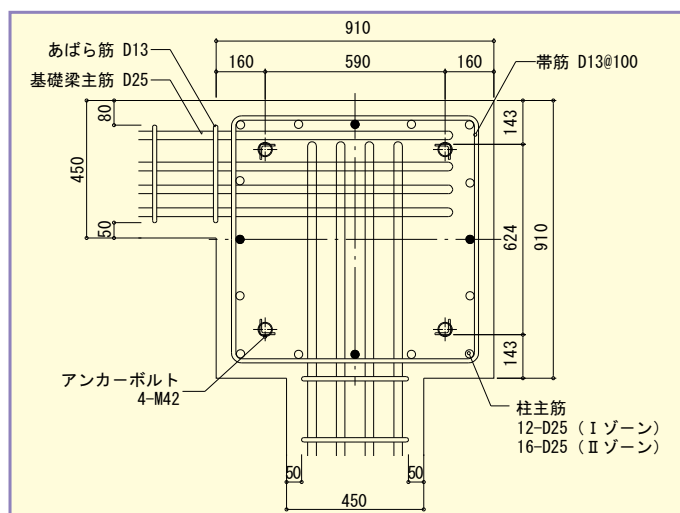
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	300~760	360~760	420~760	480~760
D25	300~760	370~760	440~760	510~760
D29	300~760	380~760	460~760	540~760

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~630	300~630	360~630	420~630
D25	250~630	320~630	390~630	460~630
D29	260~630	340~630	420~630	500~630

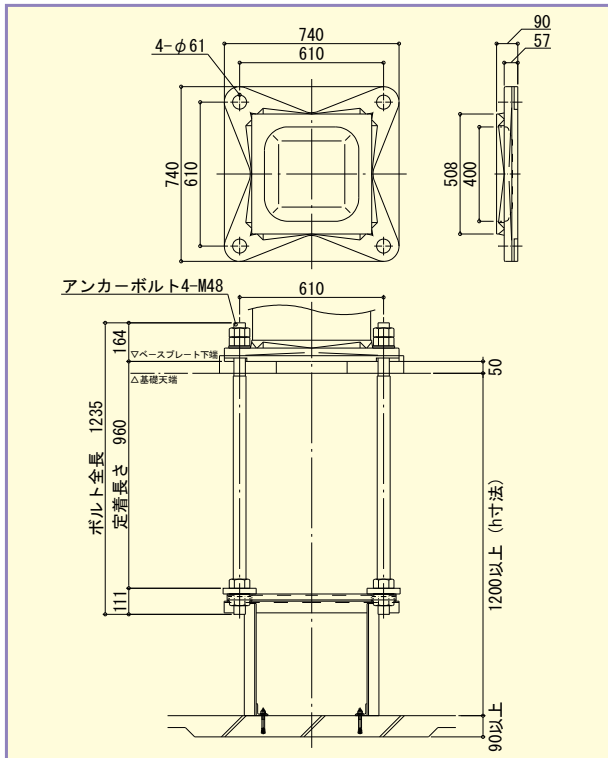


注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの場合の配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

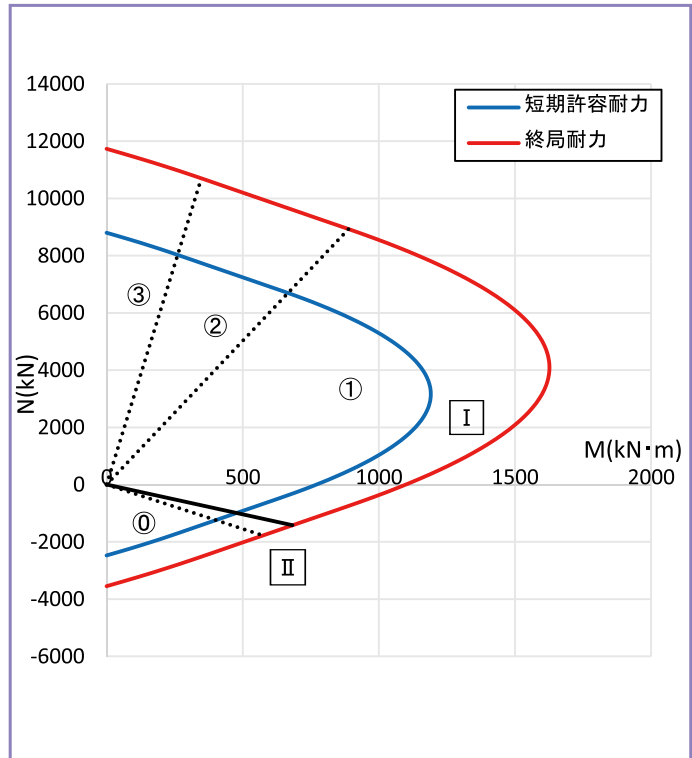
GB500-4-48 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □500 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ (鑄鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M48)
回転ばね定数	290 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	950	12-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	950	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	500
〈中柱用〉	950	12-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	950	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	500

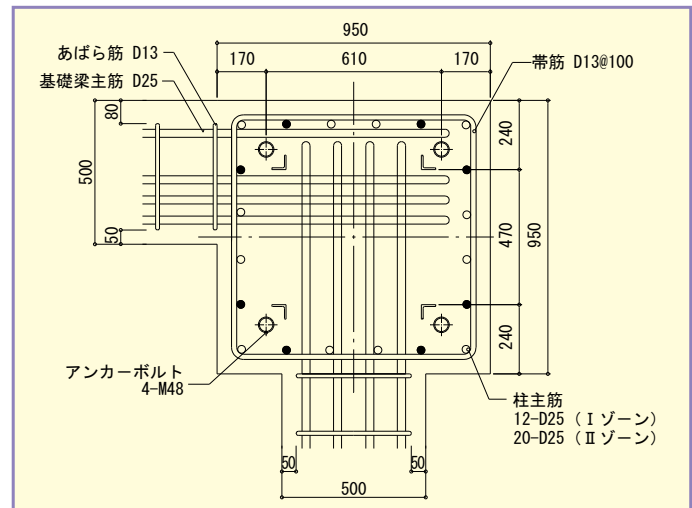
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	350~760	410~760	470~760	530~760
D25	350~760	420~760	490~760	560~760
D29	350~760	430~760	510~760	590~760

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~580	300~580	360~580	420~580
D25	250~580	320~580	390~580	460~580
D29	260~580	340~580	420~580	500~580

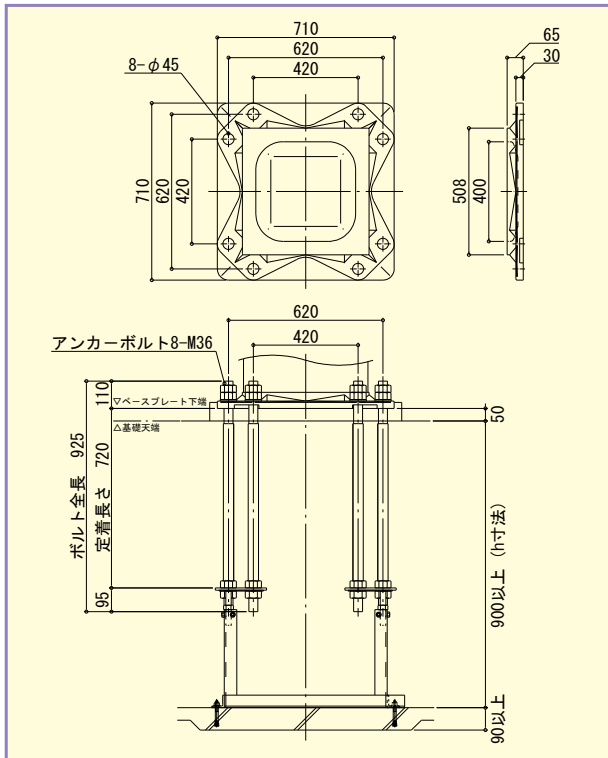


注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの場合の配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

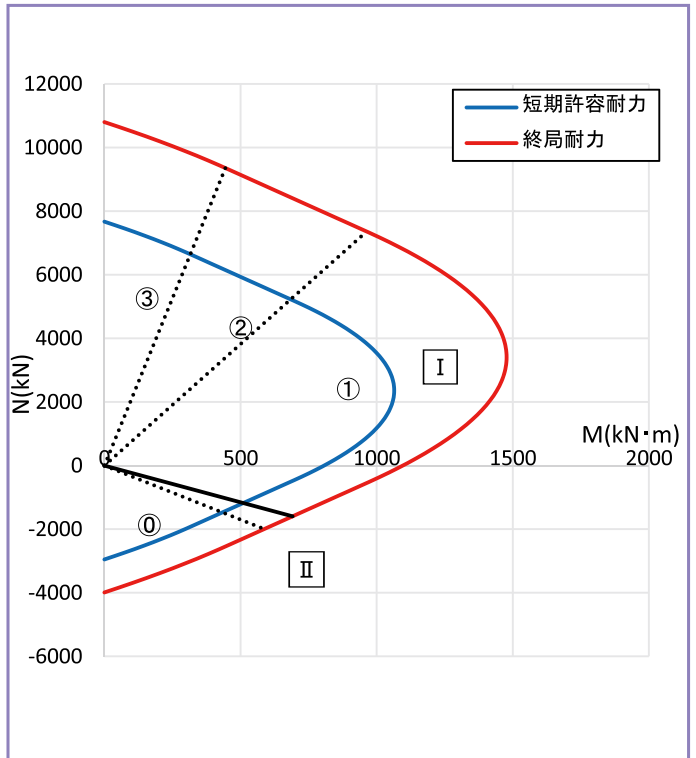
GB500-8-36 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □500 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M36)
回転ばね定数	354 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



GB

基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	950	16-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	950	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	540
〈中柱用〉	950	16-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	950	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	540

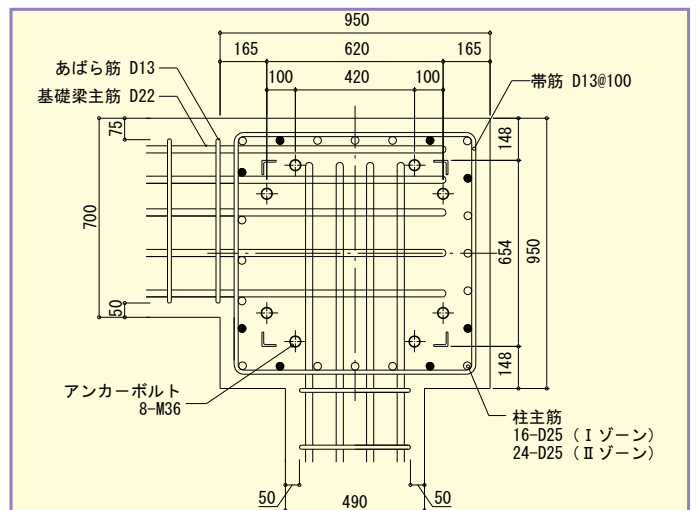
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	400~720	460~720	520~720	580~720
D22	400~720	460~720	520~720	580~720
D25	400~720	470~720	540~720	610~720

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~490	300~490	360~490	420~490
D22	240~490	300~490	360~490	420~490
D25	250~490	320~490	390~490	460~490

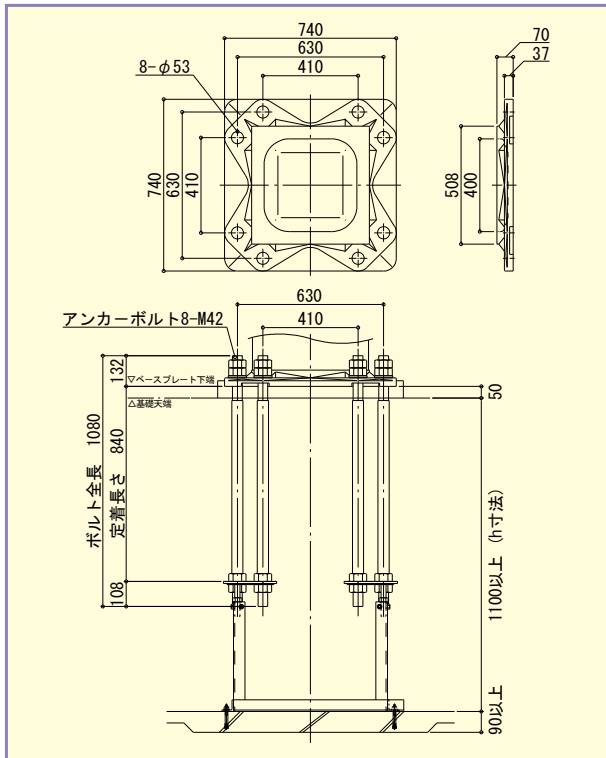


注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。
注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

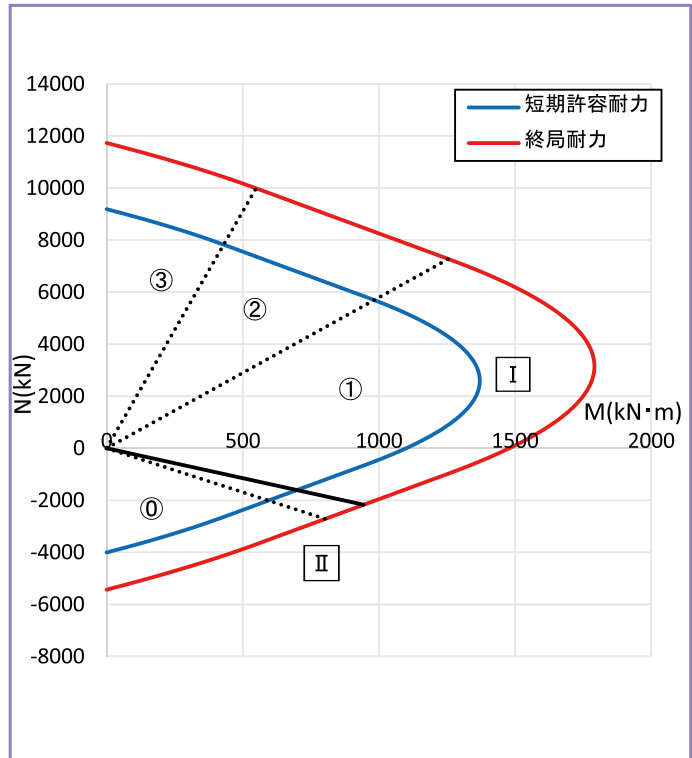
GB500-8-42 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □500 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M42)
回転ばね定数	421 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	950	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	950	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	700
〈中柱用〉	950	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	950	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	700

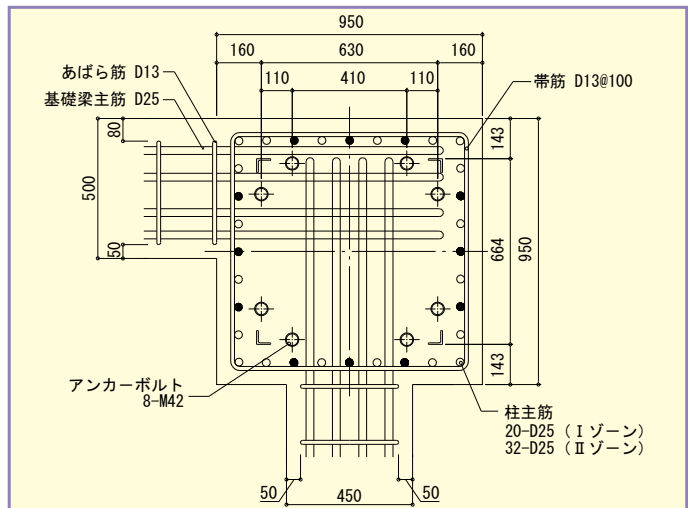
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	410~710	470~710	530~710	590~710
D25	410~710	480~710	550~710	620~710
D29	410~710	490~710	570~710	650~710

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~470	300~470	360~470	420~470
D25	250~470	320~470	390~470	460~470
D29	260~470	340~470	420~470	* 690



注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。

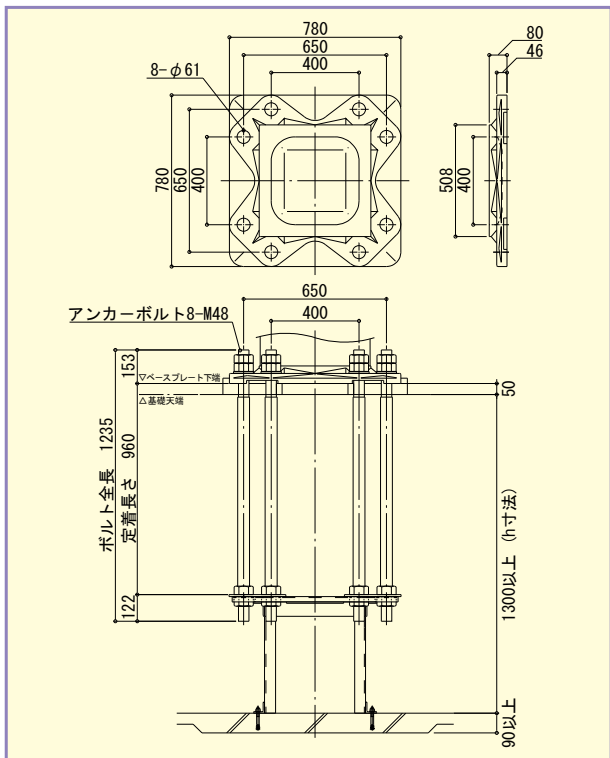
設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

注 2) *がつかう基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

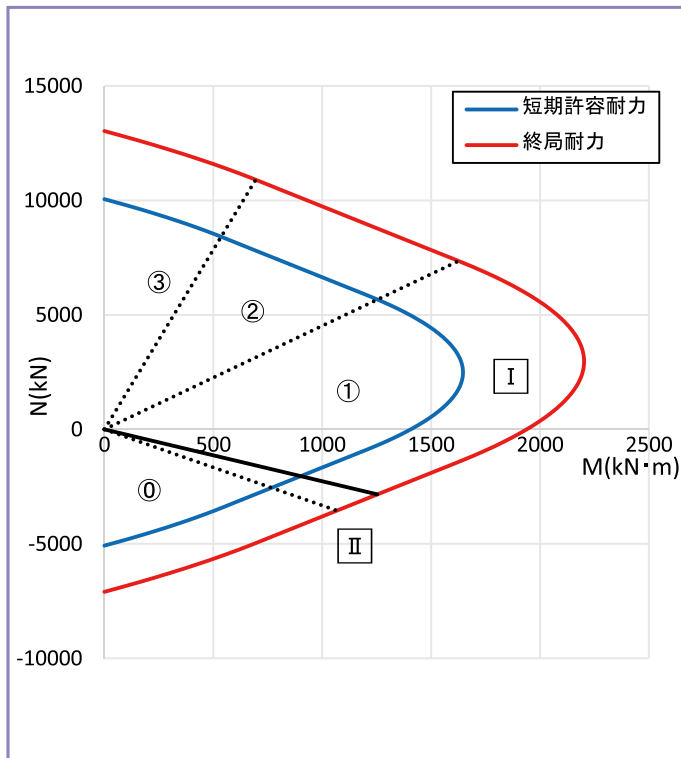
GB500-8-48 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □500 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M48)
回転ばね定数	489 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



GB

基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	1000	20-D29 (SD390)	D13@100 (SD295)	1000	28-D29 (SD390)	D16@100 (SD295)	780
〈中柱用〉	1000	20-D29 (SD390)	D13@100 (SD295)	1000	28-D29 (SD390)	D16@100 (SD295)	780

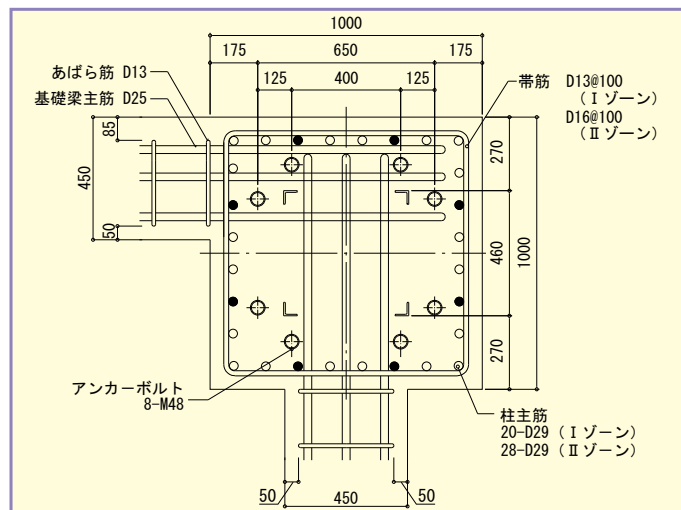
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	440~720	500~720	560~720	620~720
D25	440~720	510~720	580~720	650~720
D29	440~720	520~720	600~720	680~720

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~460	300~460	360~460	420~460
D25	250~460	320~460	390~460	460
D29	260~460	340~460	420~460	* 700



注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。

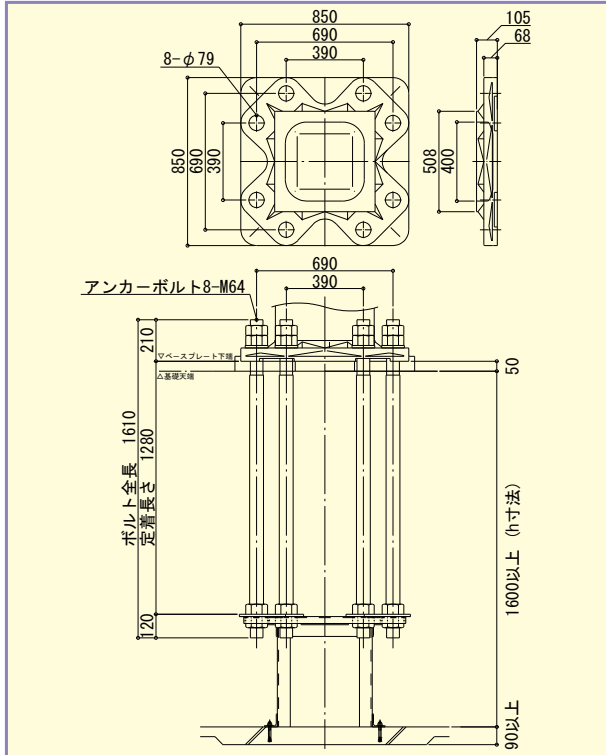
設計上、II ゾーンの場合の配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

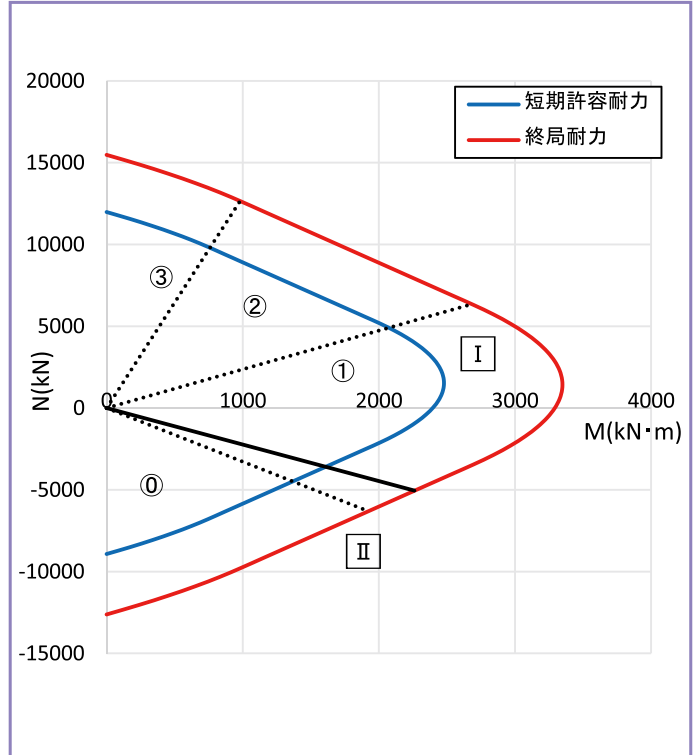
GB500-8-64 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □500 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ (鑄鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M64)
回転ばね定数	659 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	I ゾーンの場合			II ゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	1100	32-D29 (SD390)	D16@100 (SD295)	1150	48-D29 (SD390)	D16@75 (SD295)	1150
〈中柱用〉	1100	28-D29 (SD390)	D16@100 (SD295)	1150	48-D29 (SD390)	D16@75 (SD295)	1150

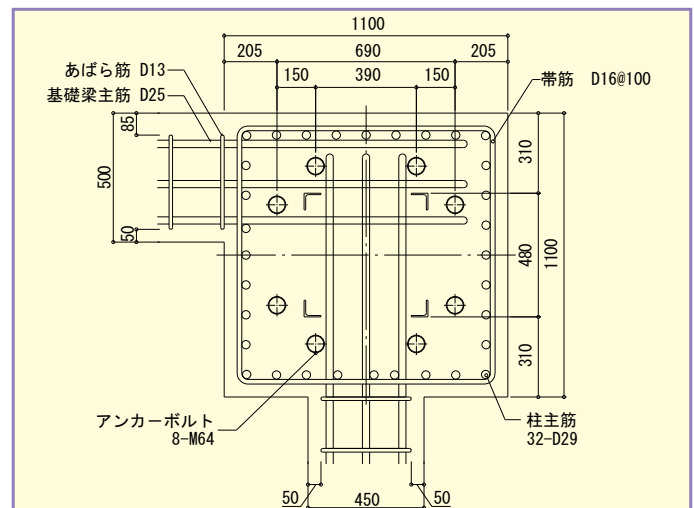
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	490~780	550~780	610~780	670~780
D25	490~780	560~780	630~780	700~780
D29	490~780	570~780	650~780	730~780

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~460	300~460	360~460	420~460
D25	250~460	320~460	390~460	460
D29	260~460	340~460	420~460	*750

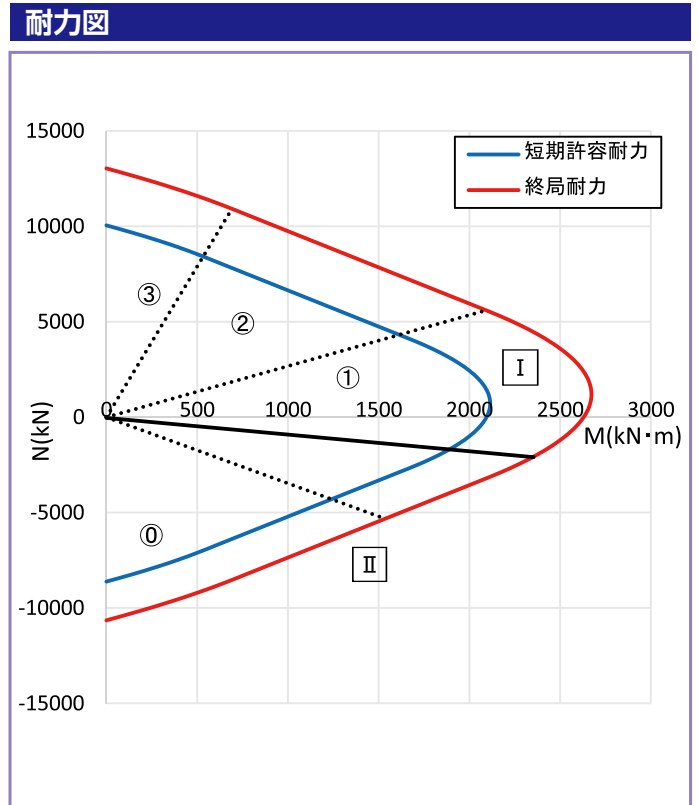
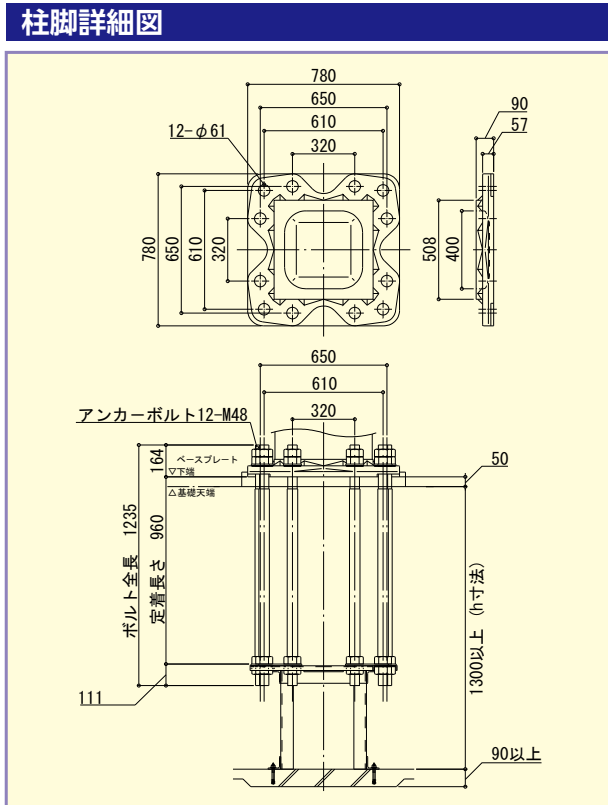


注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーン〈側・隅柱用〉の場合の配筋量です。

注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

GB500-12-48 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □500 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト12本タイプ (12-M48)
回転ばね定数	695 × 10 ³ kN・m/rad



GB

基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	1000	24-D29 (SD390)	帯筋-D16@100 (SD295)	1100	40-D29 (SD390)	帯筋-D16@100 (SD295)	790
〈中柱用〉	1000	16-D29 (SD390)	帯筋-D16@100 (SD295)	1100	40-D29 (SD390)	帯筋-D16@100 (SD295)	790

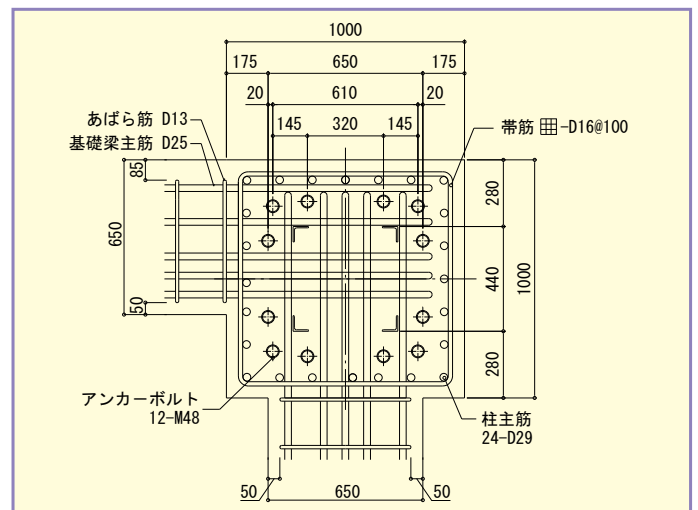
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	490~680	550~680	610~680	670~680
D25	490~680	560~680	630~680	
D29	490~680	570~680	650~680	

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~350	300~350	* 650	* 650
D25	250~350	320~350	* 650	* 650
D29	260~350	340~350	* 650	* 650

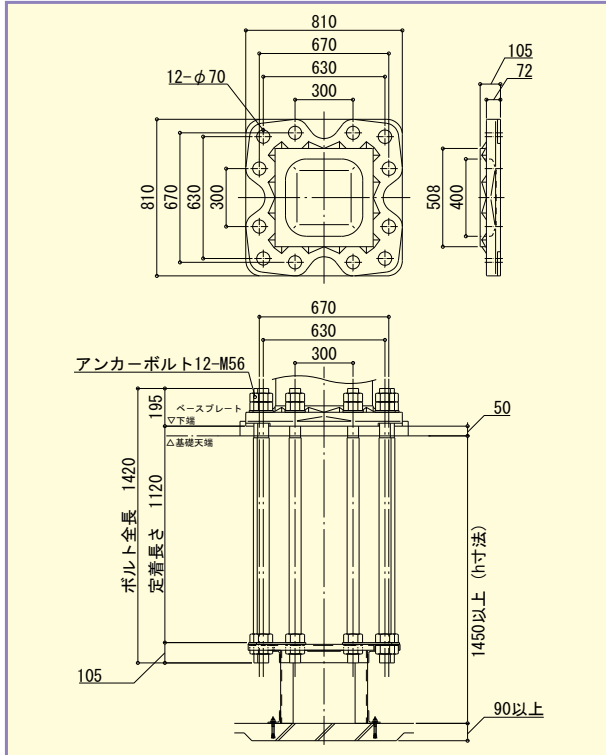


注 1) 上記納まり例は I ゾーンの場合です。
 注 2) * がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。
 注 3) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

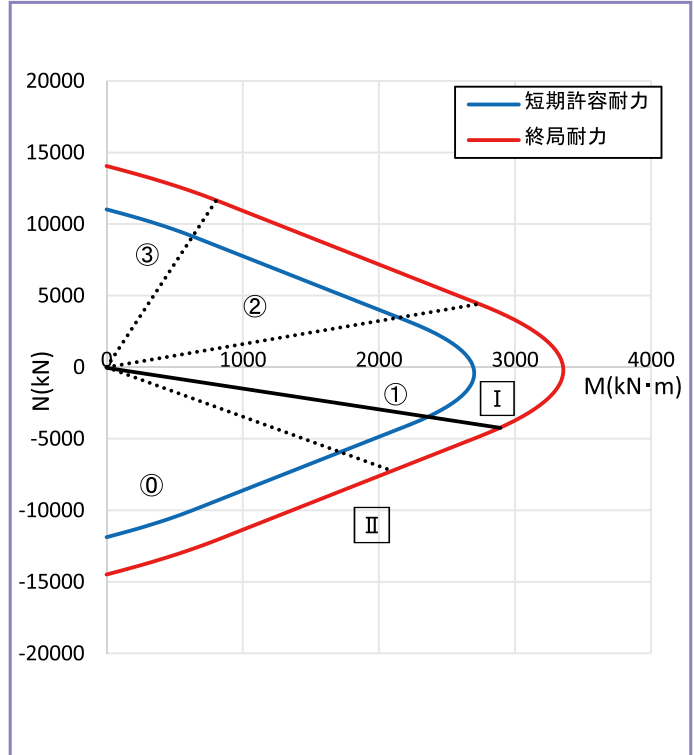
GB500-12-56 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □500 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ (鑄鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト12本タイプ (12-M56)
回転ばね定数	771 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	I ゾーンの場合			II ゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	1050	32-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	1500	56-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	1030
〈中柱用〉	1050	24-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	1500	56-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	1030

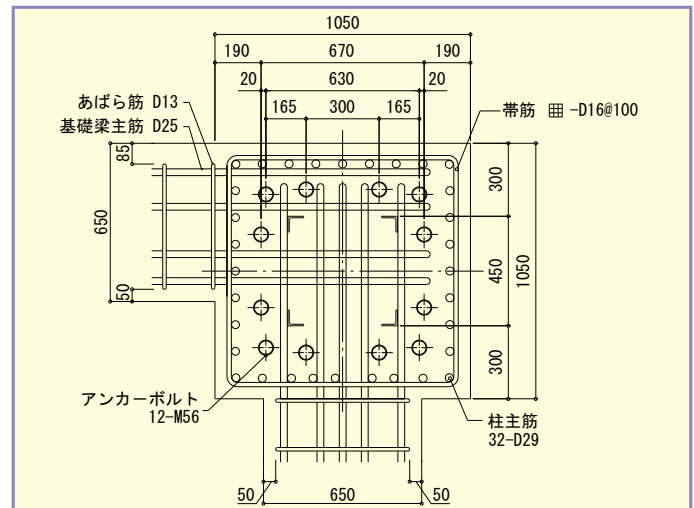
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	520~700	580~700	640~700	700
D25	520~700	590~700	660~700	
D29	520~700	600~700	680~700	

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~340	300~340	* 650	* 650
D25	250~340	320~340	* 650	* 650
D29	260~340	340	* 650	* 650

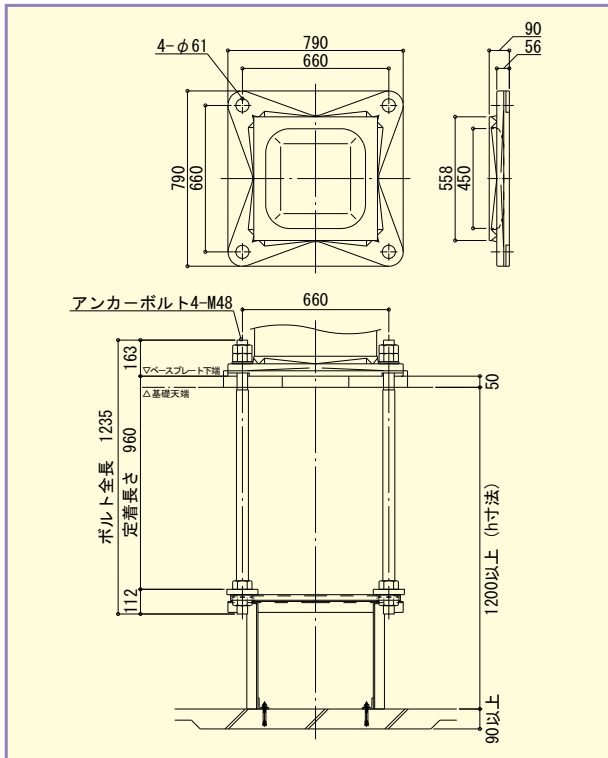


注 1) 上記納まり例は I ゾーンの場合です。
 注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。
 注 3) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

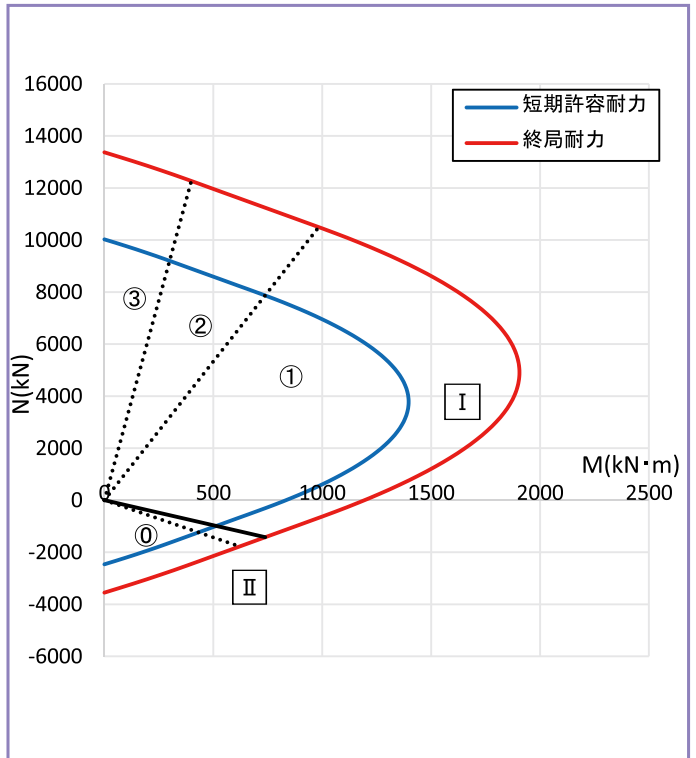
GB550-4-48 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □550(板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ(鑄鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ(4-M48)
回転ばね定数	339×10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



GB

基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	1000	12-D25(SD345)	D16@150(SD295)	1000	20-D25(SD345)	D16@150(SD295)	490
〈中柱用〉	1000	12-D25(SD345)	D16@150(SD295)	1000	20-D25(SD345)	D16@150(SD295)	490

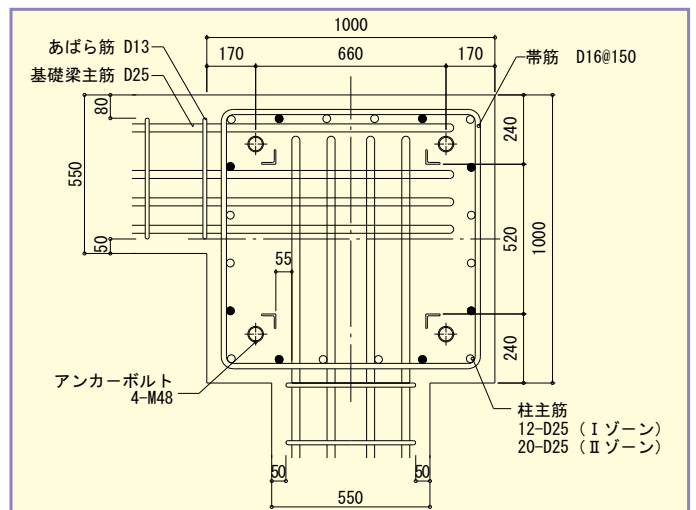
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	350~810	410~810	470~810	530~810
D25	350~810	420~810	490~810	560~810
D29	350~810	430~810	510~810	590~810

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~630	300~630	360~630	420~630
D25	250~630	320~630	390~630	460~630
D29	260~630	340~630	420~630	500~630

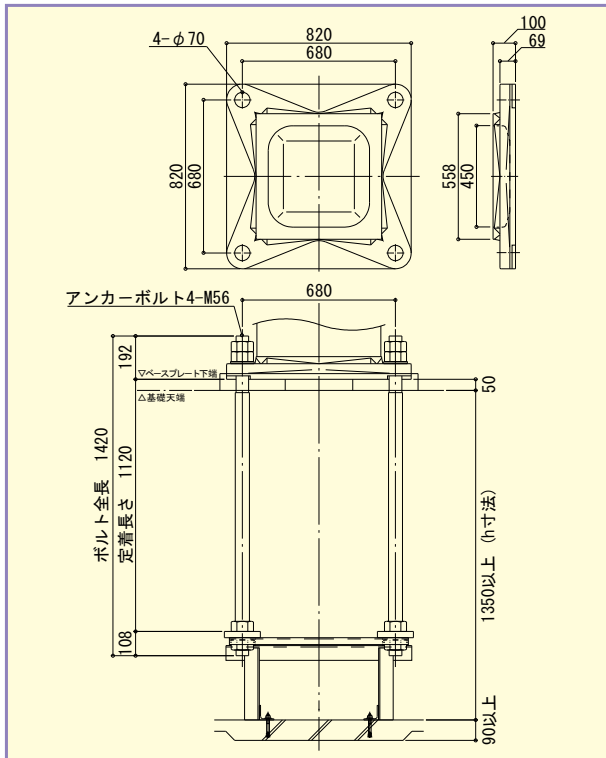


注1) 上記柱主筋について、柱主筋○はIゾーンの場合の配筋量です。
設計上、IIゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

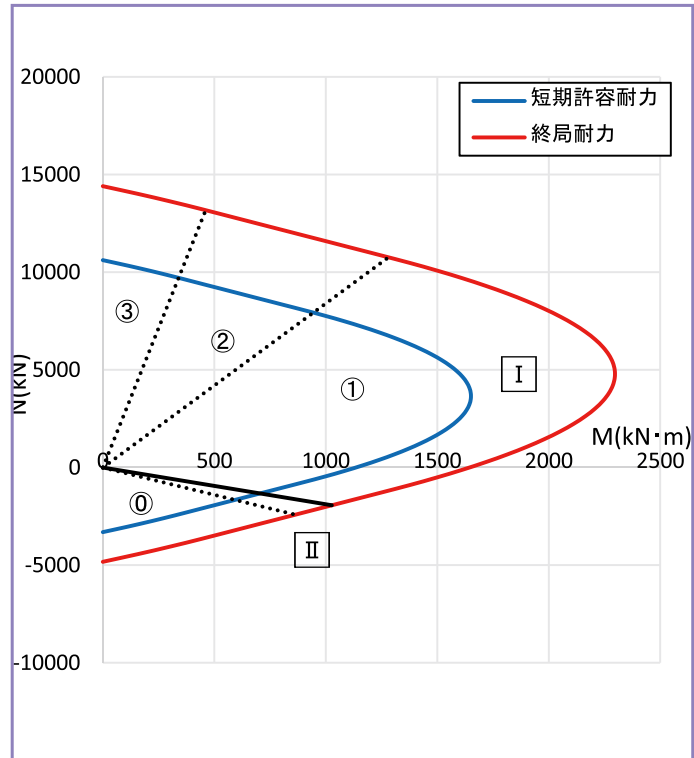
GB550-4-56 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □550 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ (鑄鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M56)
回転ばね定数	408×10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	1050	16-D25 (SD345)	D16@150 (SD295)	1050	28-D25 (SD345)	D16@150 (SD295)	610
〈中柱用〉	1050	16-D25 (SD345)	D16@150 (SD295)	1050	28-D25 (SD345)	D16@150 (SD295)	610

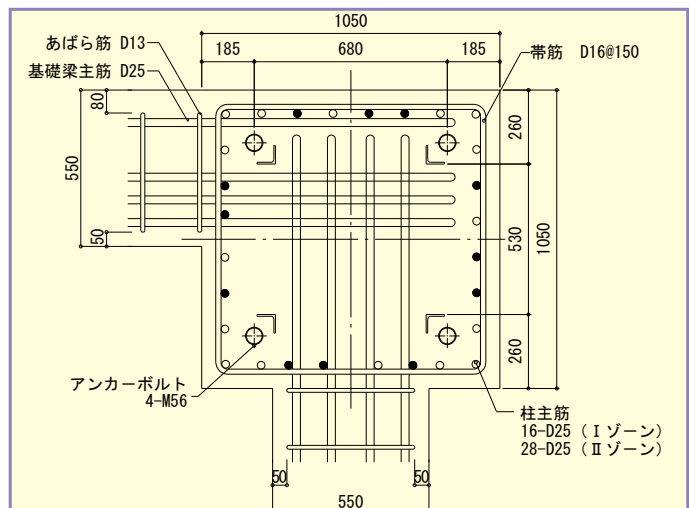
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	370~840	430~840	490~840	550~840
D25	370~840	440~840	510~840	580~840
D29	370~840	450~840	530~840	610~840

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~640	300~640	360~640	420~640
D25	250~640	320~640	390~640	460~640
D29	260~640	340~640	420~640	500~640

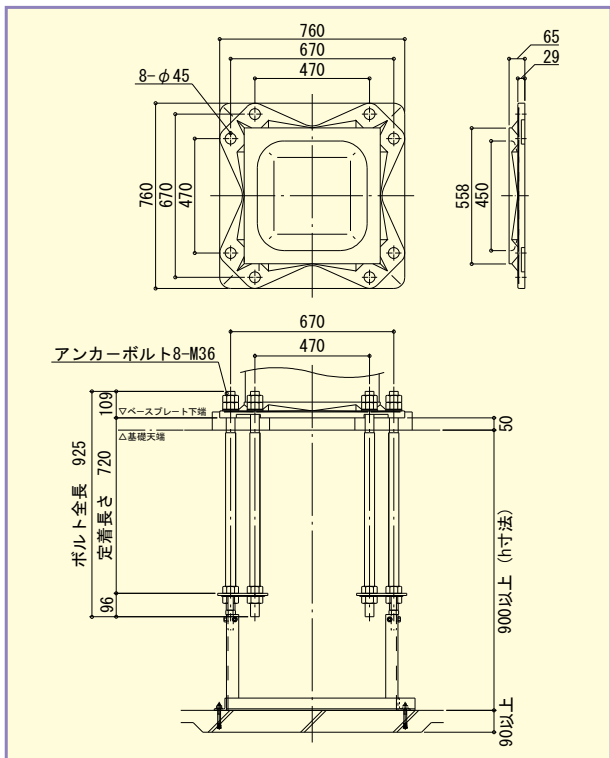


注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの場合の配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

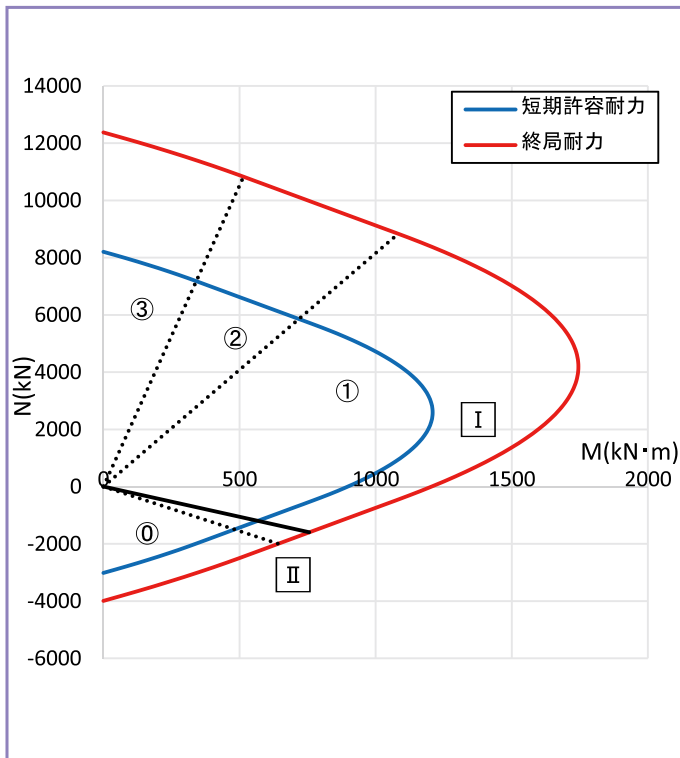
GB550-8-36 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □550 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M36)
回転ばね定数	419×10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



GB

基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	1000	16-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	1000	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	530
〈中柱用〉	1000	16-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	1000	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	530

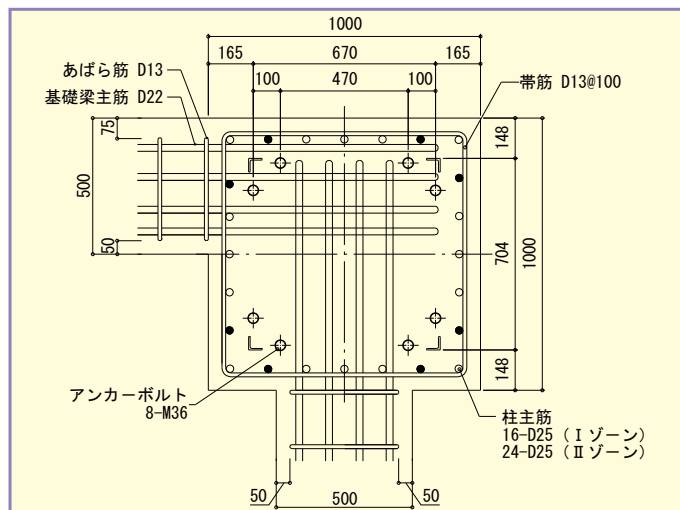
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	400~770	460~770	520~770	580~770
D22	400~770	460~770	520~770	580~770
D25	400~770	470~770	540~770	610~770

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~540	300~540	360~540	420~540
D22	240~540	300~540	360~540	420~540
D25	250~540	320~540	390~540	460~540



注1) 上記柱主筋について、柱主筋○はIゾーンの場合の配筋量です。

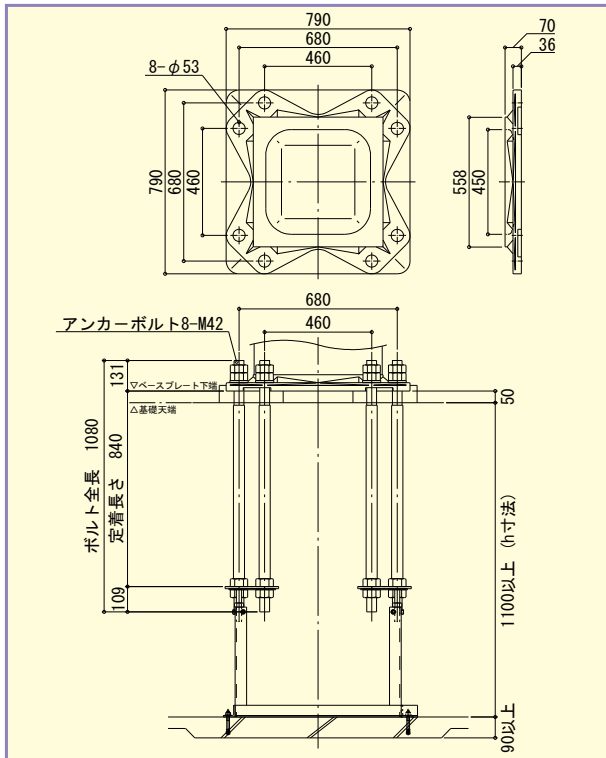
設計上、IIゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

注2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

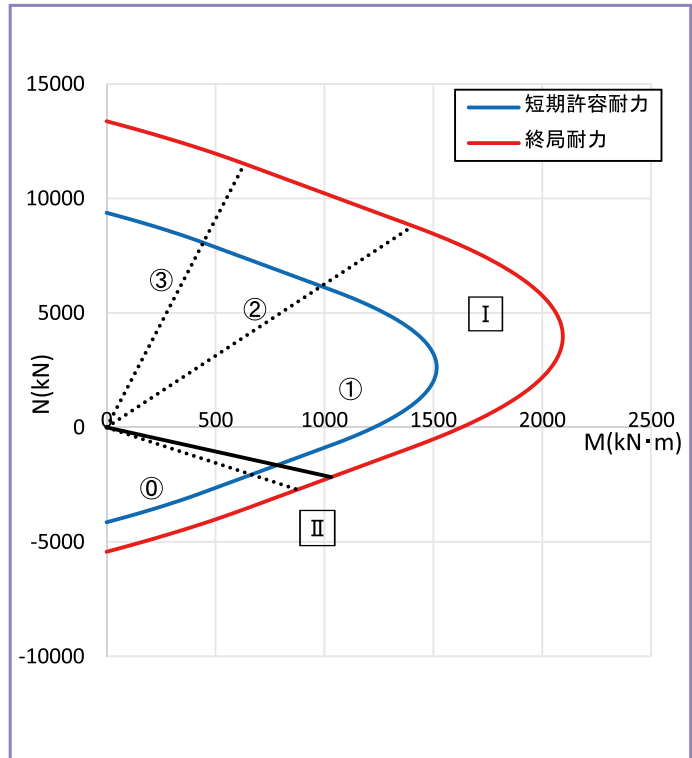
GB550-8-42 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □550 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M42)
回転ばね定数	498 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	1000	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	1000	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	680
〈中柱用〉	1000	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	1000	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	680

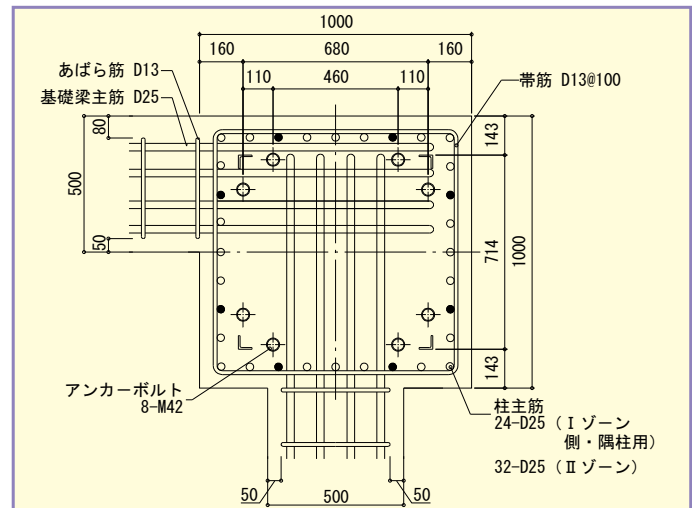
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	410~760	470~760	530~760	590~760
D25	410~760	480~760	550~760	620~760
D29	410~760	490~760	570~760	650~760

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~520	300~520	360~520	420~520
D25	250~520	320~520	390~520	460~520
D29	260~520	340~520	420~520	500~520

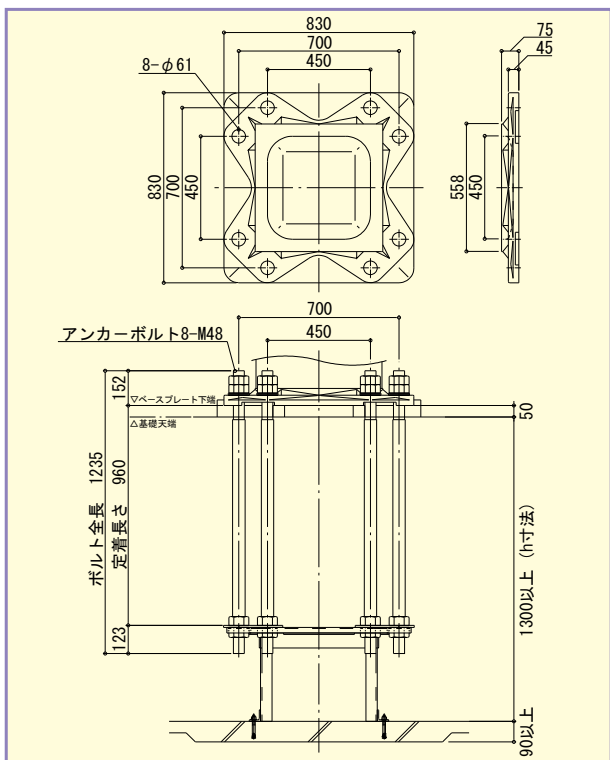


注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーン〈側・隅柱用〉の場合の配筋量です。
 設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。
 注 2) *がつかう基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

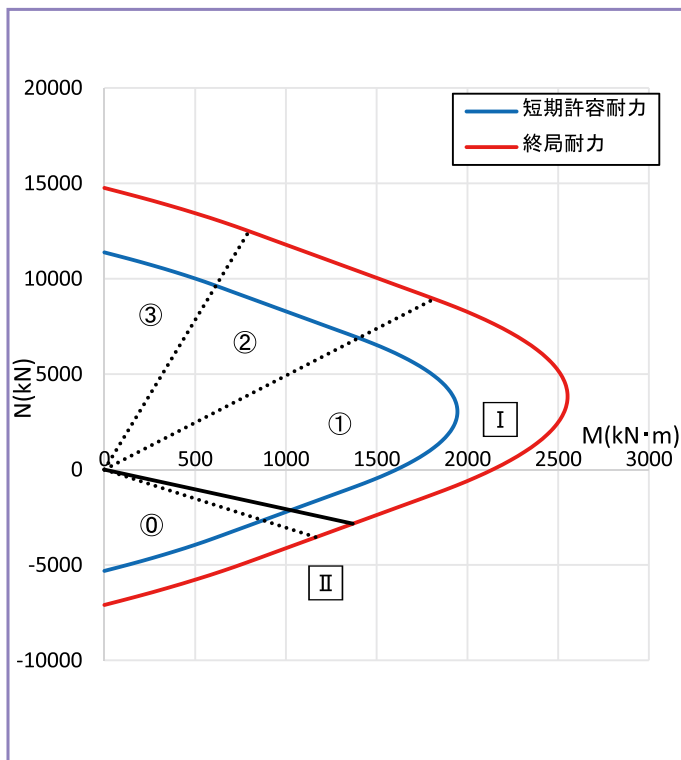
GB550-8-48 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □550 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M48)
回転ばね定数	580 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



GB

基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	1050	20-D29 (SD390)	D16@150 (SD295)	1050	28-D29 (SD390)	D16@150 (SD295)	870
〈中柱用〉	1050	20-D29 (SD390)	D16@150 (SD295)	1050	28-D29 (SD390)	D16@150 (SD295)	870

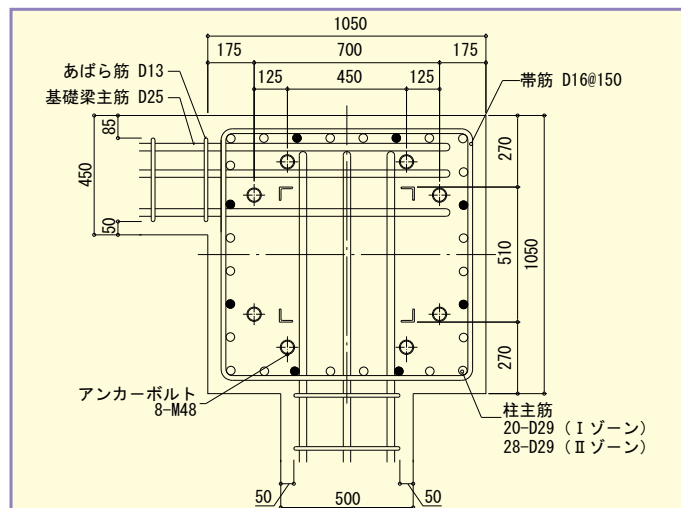
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	440~770	500~770	560~770	620~770
D25	440~770	510~770	580~770	650~770
D29	440~770	520~770	600~770	680~770

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~510	300~510	360~510	420~510
D25	250~510	320~510	390~510	460~510
D29	260~510	340~510	420~510	500~510



注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。

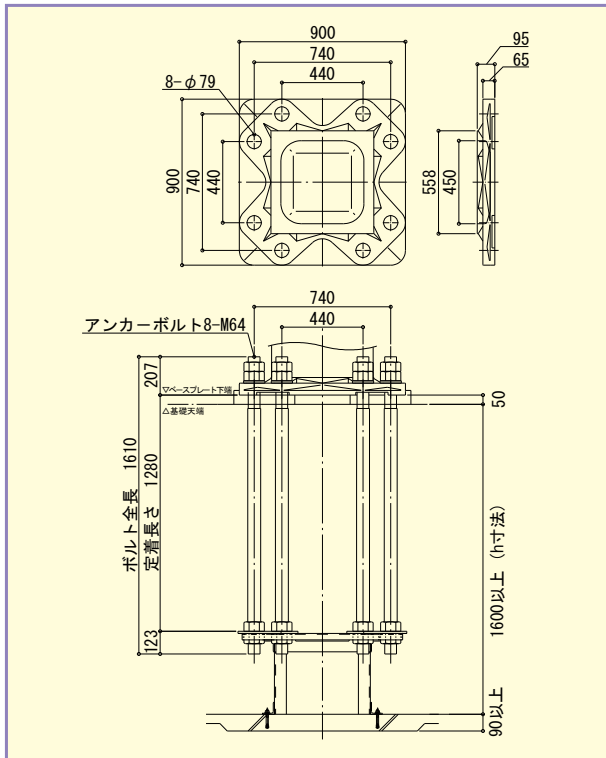
設計上、II ゾーンの場合の配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

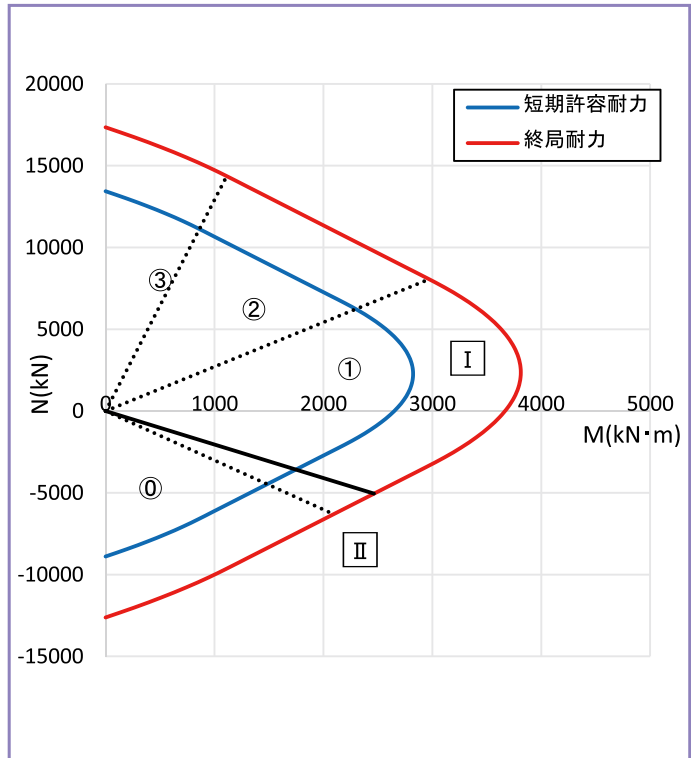
GB550-8-64 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □550 (板厚範囲: 9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ (鑄鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M64)
回転ばね定数	806 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の 定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	1150	32-D29 (SD390)	D16@100 (SD295)	1150	48-D29 (SD390)	D16@75 (SD295)	1150
〈中柱用〉	1150	28-D29 (SD390)	D16@100 (SD295)	1150	48-D29 (SD390)	D16@75 (SD295)	1150

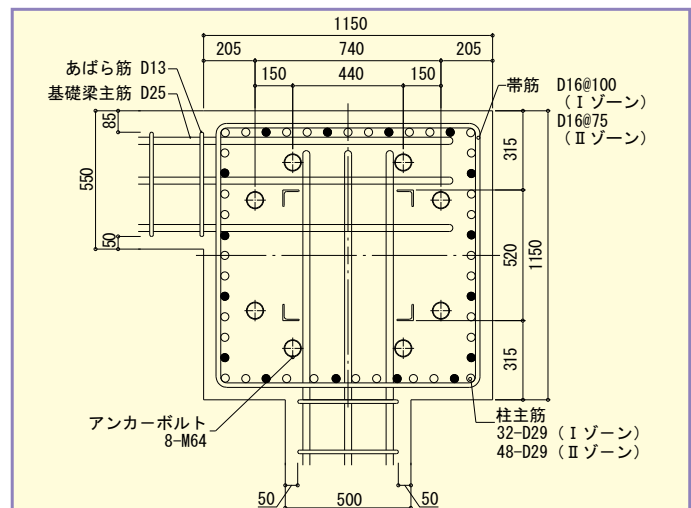
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	490~820	550~820	610~820	670~820
D25	490~820	560~820	630~820	700~820
D29	490~820	570~820	650~820	730~820

柱形中心基礎はりタイプ

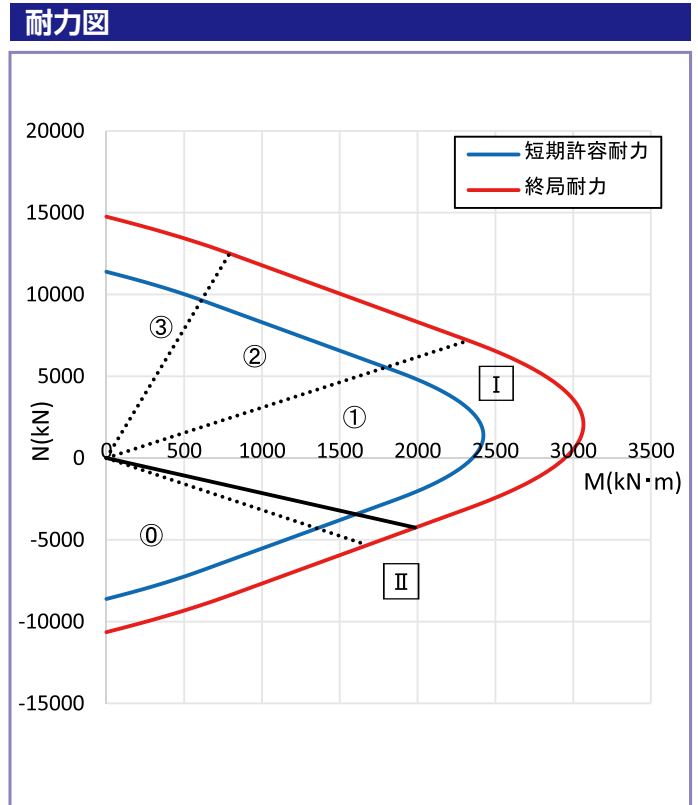
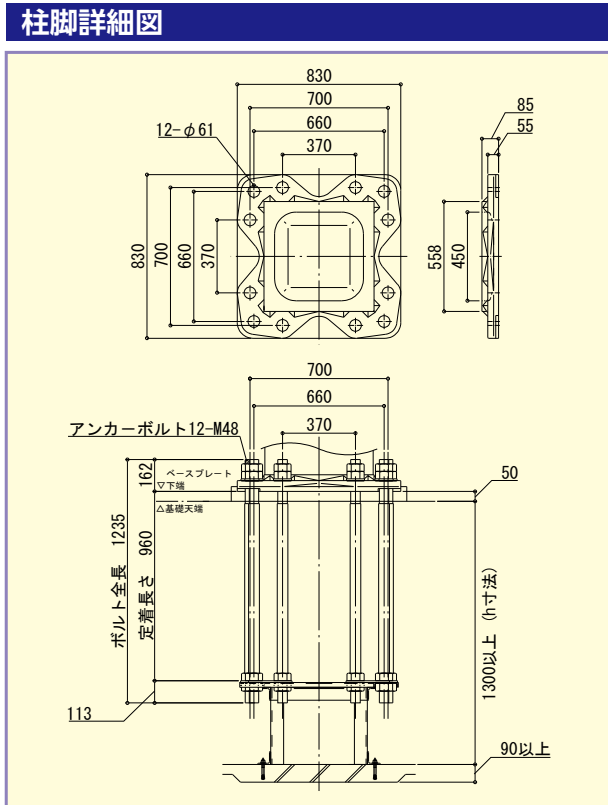
はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~500	300~500	360~500	420~500
D25	250~500	320~500	390~500	460~500
D29	260~500	340~500	420~500	* 800



注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーン〈側・隅柱用〉の場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの場合の配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。
注 2) *がつかう基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

GB550-12-48 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □550 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト12本タイプ (12-M48)
回転ばね定数	817×10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	1050	24-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	1100	40-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	790
〈中柱用〉	1050	20-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	1100	40-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	790

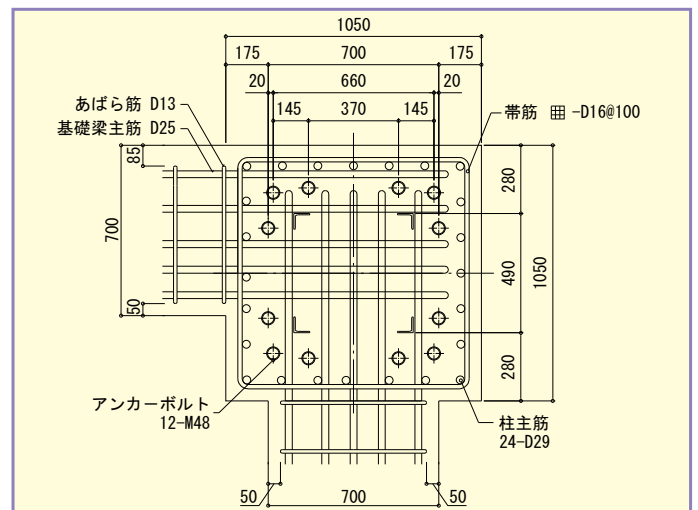
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	490~730	550~730	610~730	670~730
D25	490~730	560~730	630~730	700~730
D29	490~730	570~730	650~730	730

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~400	300~400	360~400	* 700
D25	250~400	320~400	390~400	* 700
D29	260~400	340~400	* 700	* 700

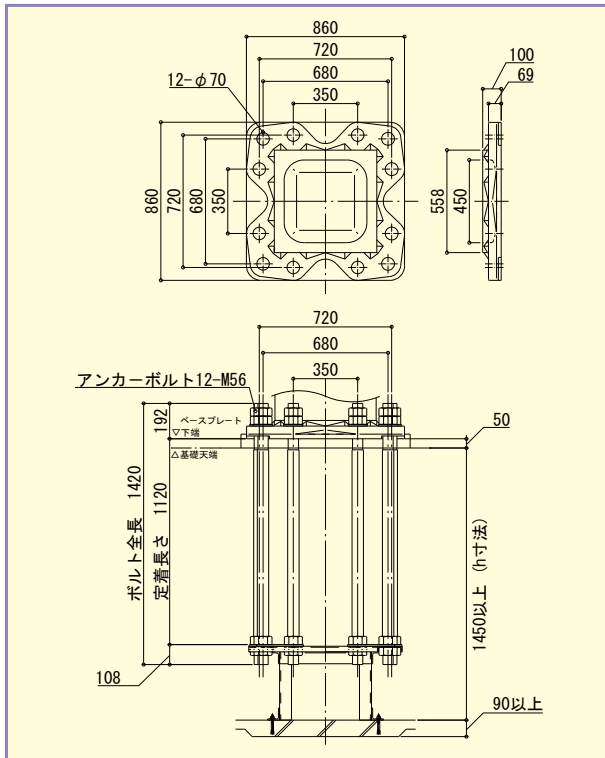


注 1) 上記納まり例は I ゾーンの場合です。
 注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。
 注 3) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

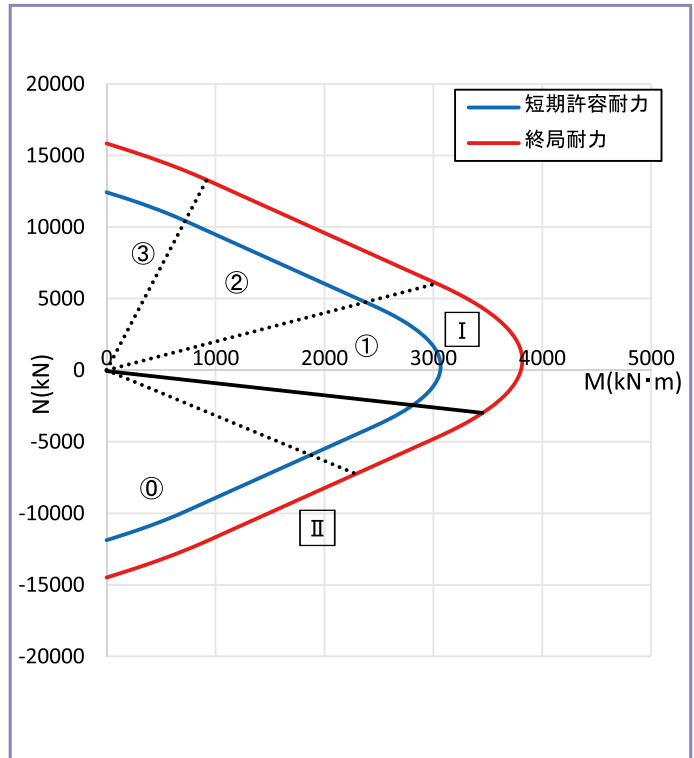
GB550-12-56 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □550 (板厚範囲: 9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ (鑄鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト12本タイプ (12-M56)
回転ばね定数	923 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	I ゾーンの場合			II ゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	1100	32-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	1500	56-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	1030
〈中柱用〉	1100	24-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	1500	56-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	1030

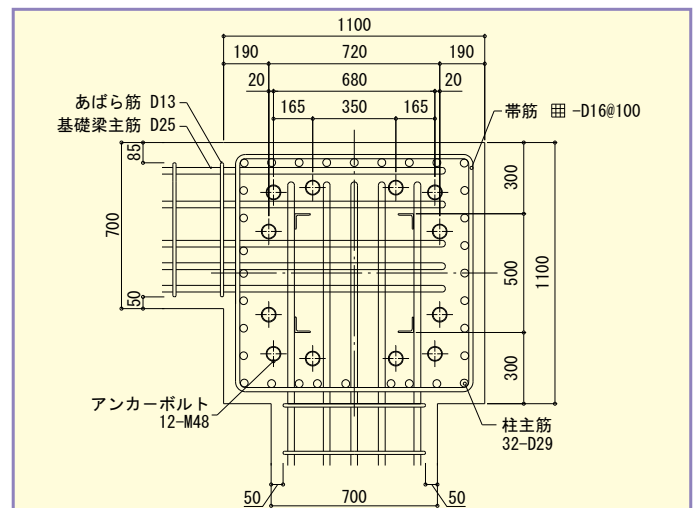
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	520~750	580~750	640~750	700~750
D25	520~750	590~750	660~750	730~750
D29	520~750	600~750	680~750	

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~390	300~390	360~390	* 700
D25	250~390	320~390	390	* 700
D29	260~390	340~390	* 700	* 700



注 1) 上記納まり例は I ゾーンの場合です。

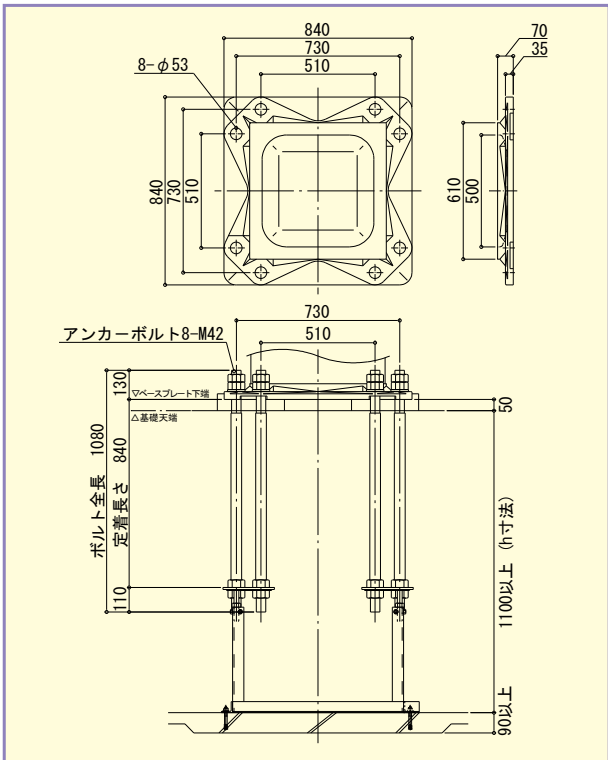
注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

注 3) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

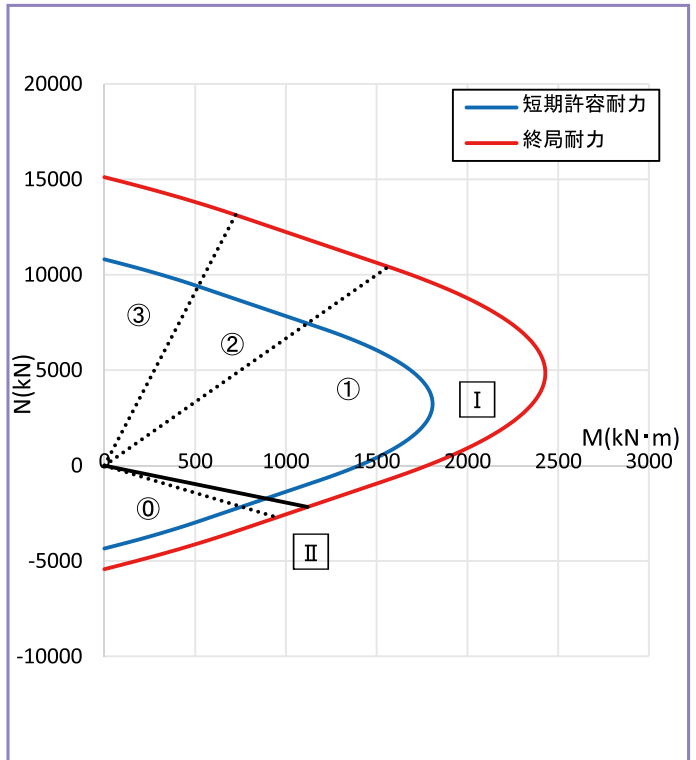
GB600-8-42 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □600 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M42)
回転ばね定数	598 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	1050	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	1050	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	670
〈中柱用〉	1050	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	1050	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	670

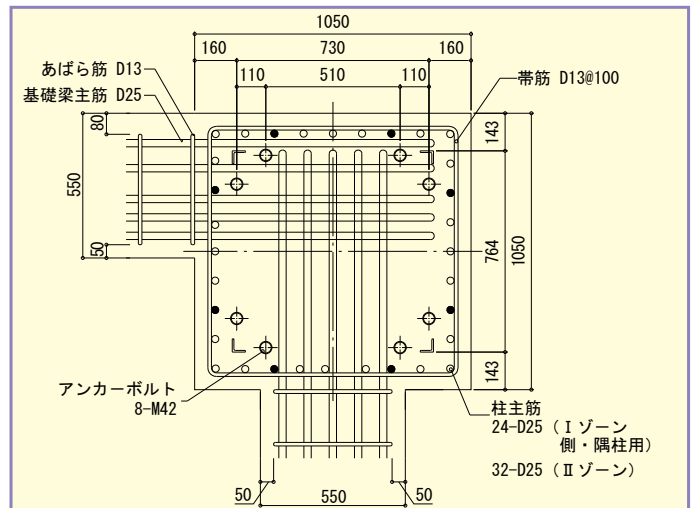
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	410~810	470~810	530~810	590~810
D25	410~810	480~810	550~810	620~810
D29	410~810	490~810	570~810	650~810

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~570	300~570	360~570	420~570
D25	250~570	320~570	390~570	460~570
D29	260~570	340~570	420~570	500~570



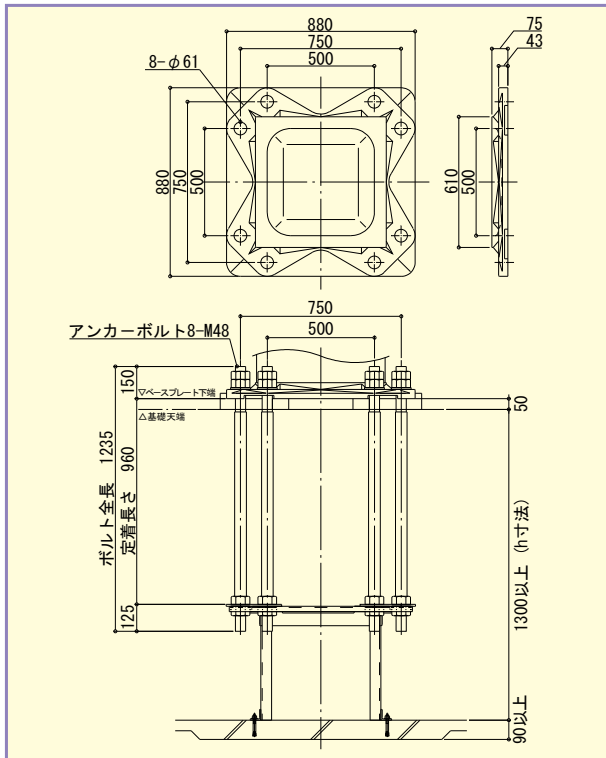
注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーン <側・隅柱用> の場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの場合、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

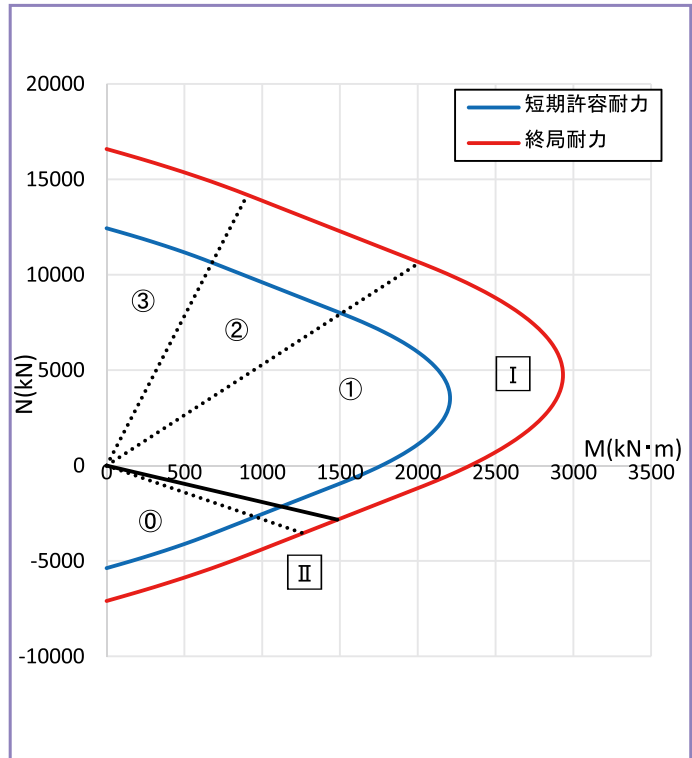
GB600-8-48 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □600 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ (鑄鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M48)
回転ばね定数	682 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	I ゾーンの場合			II ゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	1100	20-D29 (SD390)	D16@150 (SD295)	1100	28-D29 (SD390)	D16@150 (SD295)	860
〈中柱用〉	1100	20-D29 (SD390)	D16@150 (SD295)	1100	28-D29 (SD390)	D16@150 (SD295)	860

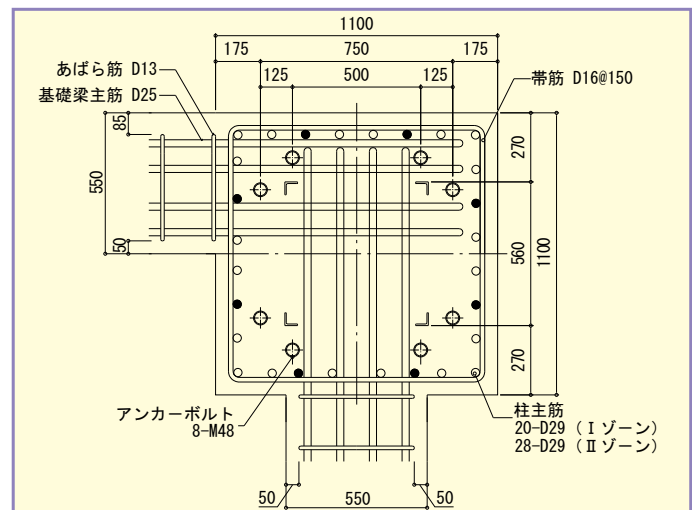
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	440~820	500~820	560~820	620~820
D25	440~820	510~820	580~820	650~820
D29	440~820	520~820	600~820	680~820

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~560	300~560	360~560	420~560
D25	250~560	320~560	390~560	460~560
D29	260~560	340~560	420~560	500~560



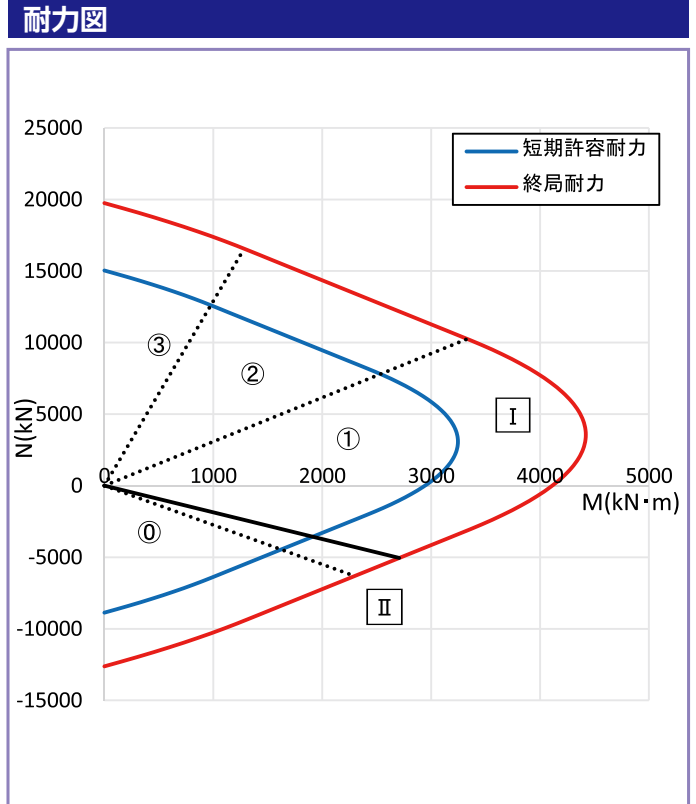
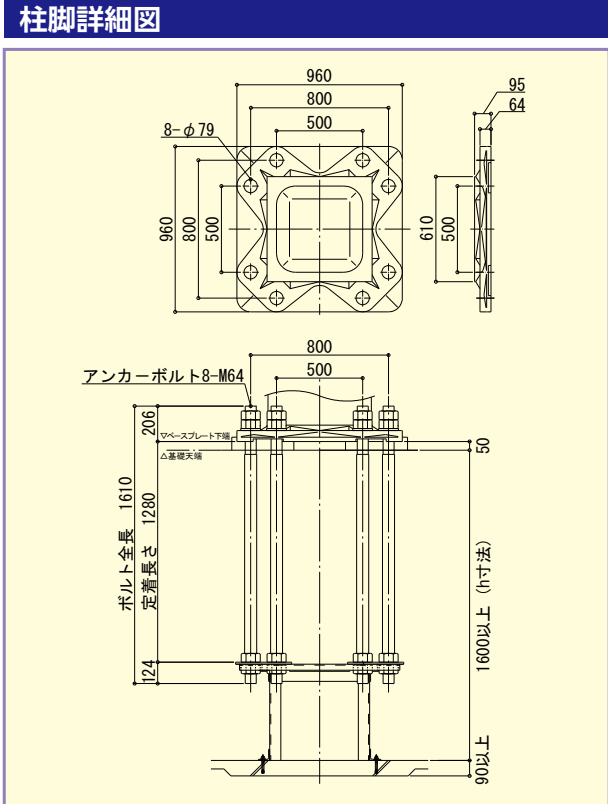
注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。

設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

注 2) *がつかう基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

GB600-8-64 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □600 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M64)
回転ばね定数	987×10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	1200	32-D29 (SD390)	D16@100 (SD295)	1200	48-D29 (SD390)	D16@75 (SD295)	1140
〈中柱用〉	1200	28-D29 (SD390)	D16@100 (SD295)	1200	48-D29 (SD390)	D16@75 (SD295)	1140

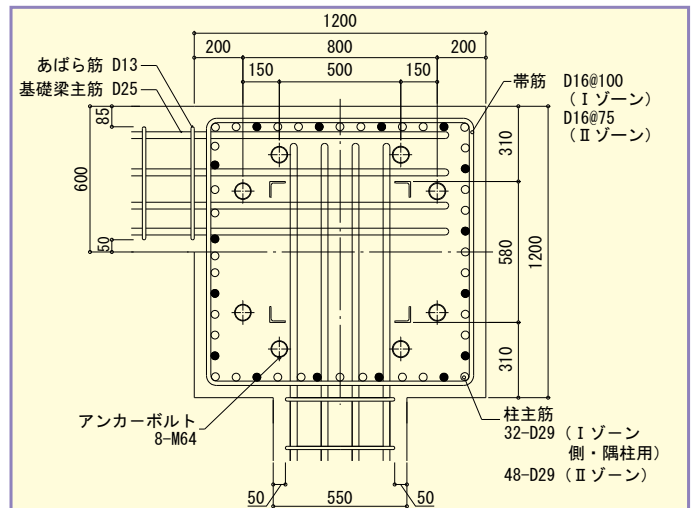
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	490~880	550~880	610~880	670~880
D25	490~880	560~880	630~880	700~880
D29	490~880	570~880	650~880	730~880

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~560	300~560	360~560	420~560
D25	250~560	320~560	390~560	460~560
D29	260~560	340~560	420~560	500~560



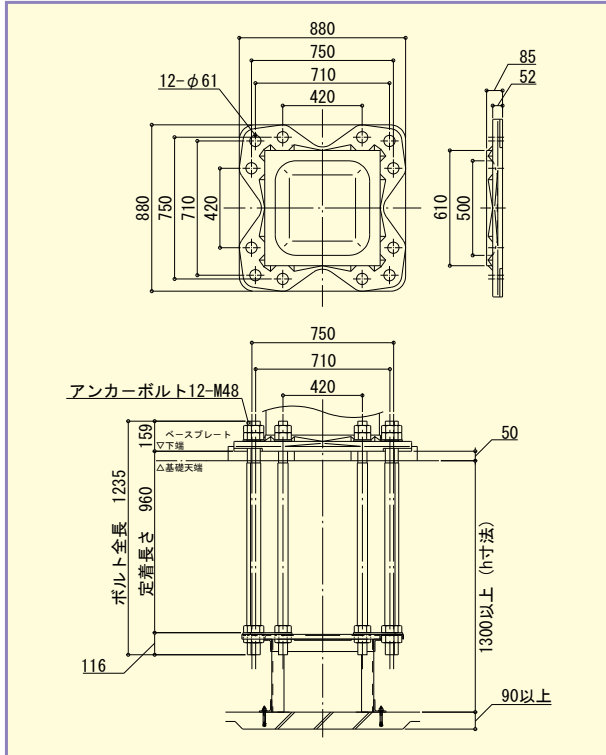
注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーン <側・隅柱用> の場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの場合、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

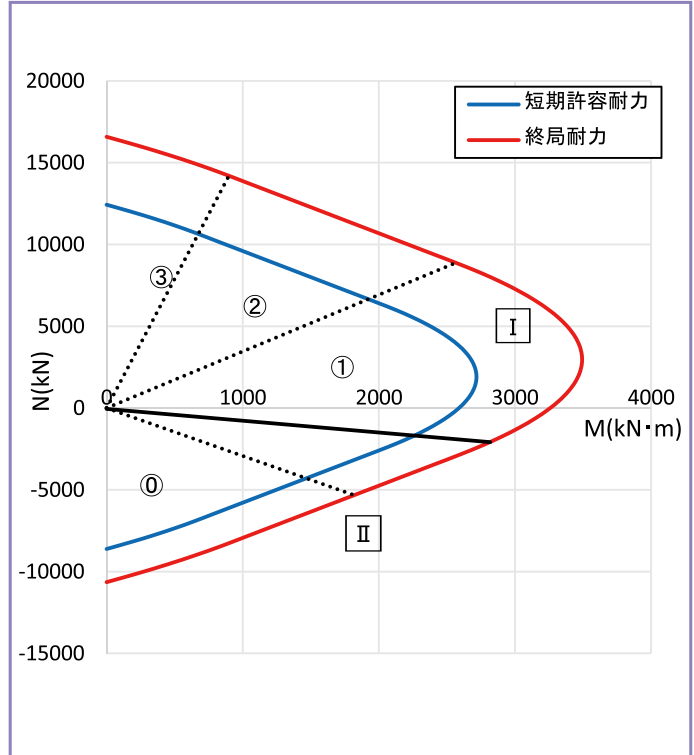
GB600-12-48 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □600 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ (鑄鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト12本タイプ (12-M48)
回転ばね定数	953×10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	I ゾーンの場合			II ゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	1100	24-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	1100	40-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	790
〈中柱用〉	1100	20-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	1100	40-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	790

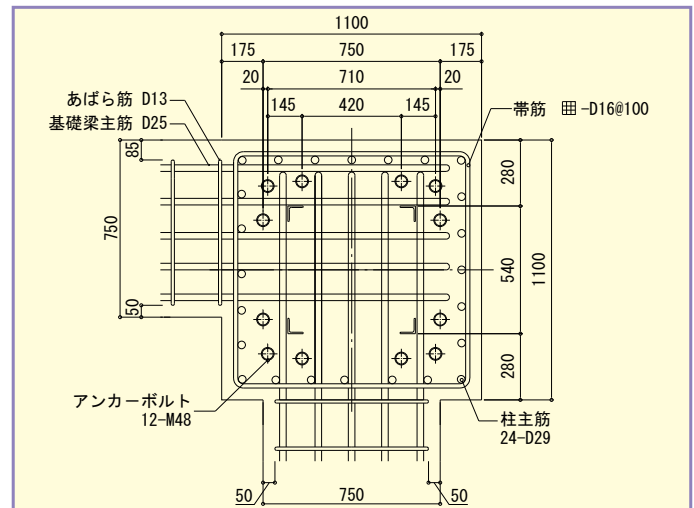
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	490~780	550~780	610~780	670~780
D25	490~780	560~780	630~780	700~780
D29	490~780	570~780	650~780	730~780

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~450	300~450	360~450	420~450
D25	250~450	320~450	390~450	* 750
D29	260~450	340~450	420~450	* 750



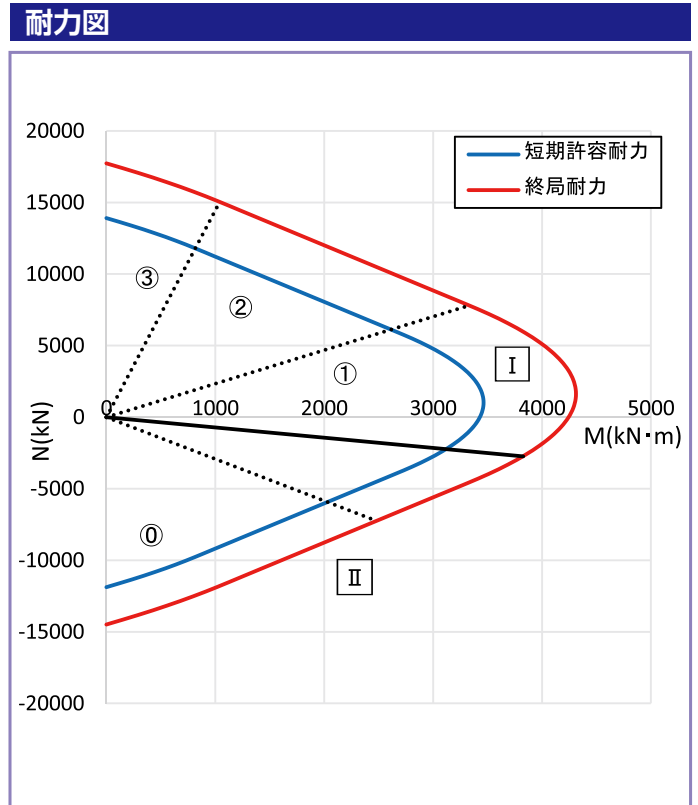
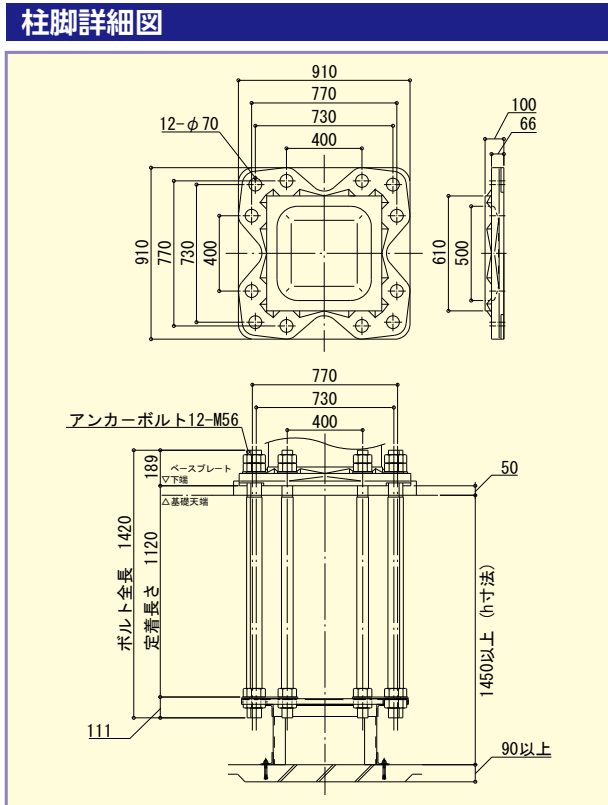
注 1) 上記納まり例は I ゾーンの場合です。

注 2) *がつかう基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

注 3) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

GB600-12-56 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □600 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト12本タイプ (12-M56)
回転ばね定数	1140 × 10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の 定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	1150	32-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	1500	56-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	1030
〈中柱用〉	1150	28-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	1500	56-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	1030

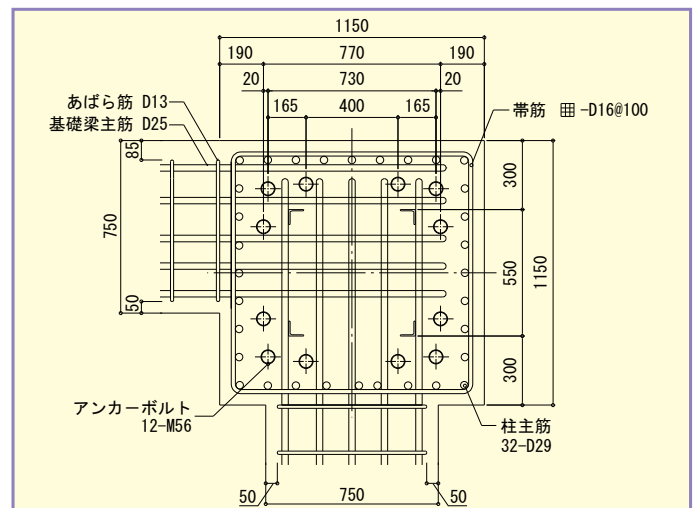
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	520~800	580~800	640~800	700~800
D25	520~800	590~800	660~800	730~800
D29	520~800	600~800	680~800	760~800

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~440	300~440	360~440	420~440
D25	250~440	320~440	390~440	* 750
D29	260~440	340~440	420~440	* 750

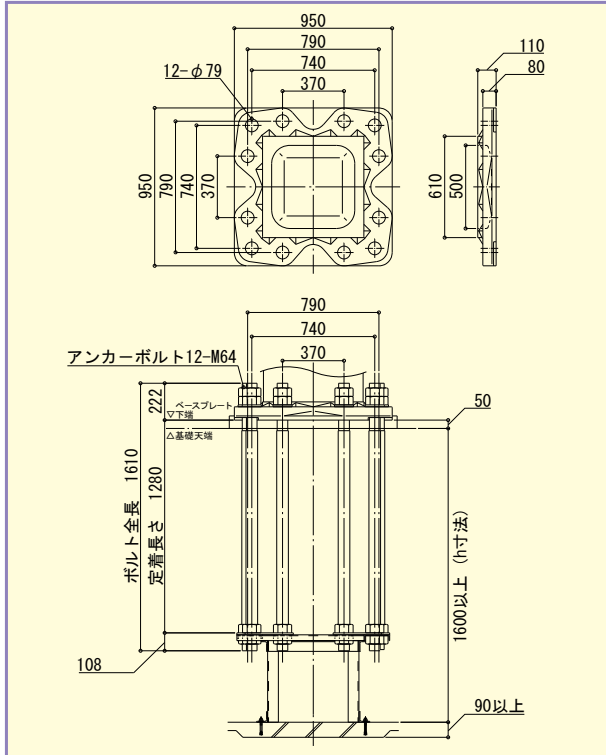


- 注 1) 上記納まり例は I ゾーンの場合です。
 注 2) * がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。
 注 3) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

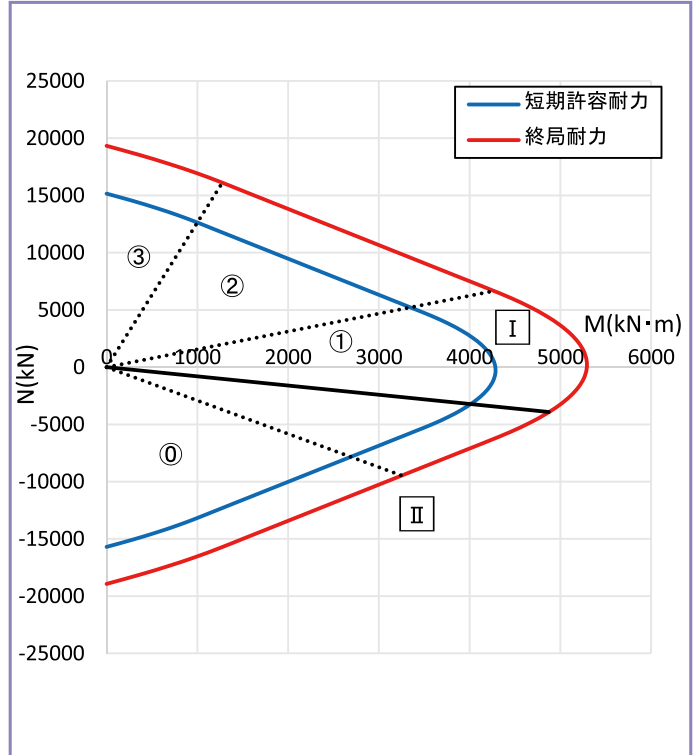
GB600-12-64 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □600 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ (鑄鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト12本タイプ (12-M64)
回転ばね定数	1240×10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	I ゾーンの場合			II ゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	1150	44-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	1800	72-D29 (SD390)	■-D16@80 (SD295)	1190
〈中柱用〉	1150	32-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	1800	72-D29 (SD390)	■-D16@80 (SD295)	1190

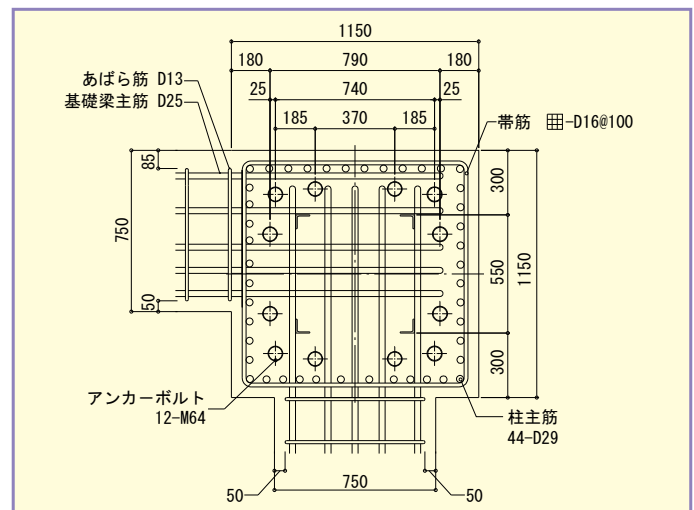
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	540~780	600~780	660~780	720~780
D25	540~780	610~780	680~780	750~780
D29	540~780	620~780	700~780	780

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~410	300~410	360~410	*750
D25	250~410	320~410	390~410	*750
D29	260~410	340~410	*750	*750



注 1) 上記納まり例は I ゾーンの場合です。
 注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。
 注 3) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。